

○ 意見等と市の考え方

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(1) 第1章2. 「関連計画との整合」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>都市マスタープラン、中心市街地活性化の戦略の中に新庁舎整備を位置付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の建替えは、50年に1度であり、まちに対するインパクトが大きい。人口減少に対応するコンパクトシティ化に向けた都市整備ビジョンを検討した上で、そのシンボル事業として新庁舎整備を検討すべき ・基本計画(案)の様に、まちの中心部が巨大な平面駐車場になってしまうのはもったいない ・中心部は、公共施設、市民活動スペース、広場など、駐車場以外の用途にも活用すべき 	<p>現行の都市計画マスタープランでは、現庁舎敷地は業務ゾーンの中に位置づけられています。</p> <p>公用車用の立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討を行います。</p> <p>駐車場の一部を多目的エリアとしており、その他の活用についても検討を行います。</p>	C
2	<p>都市マスタープラン、中心市街地活性化の戦略の中に新庁舎整備を位置付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の建替えは、50年に1度であり、まちに対するインパクトが大きい。人口減少に対応するコンパクトシティ化に向けた都市整備ビジョンを検討した上で、そのシンボル事業として新庁舎整備を検討すべき ・基本計画(案)の様に、まちの中心部が巨大な平面駐車場になってしまうのはもったいない。自走式駐車場の検討もすべき。 ・中心部は、公共施設、市民活動スペース、広場など、駐車場以外の用途に活用すべき 	<p>現行の都市計画マスタープランでは、現庁舎敷地は業務ゾーンの中に位置づけられています。</p> <p>公用車用の立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討を行います。</p> <p>駐車場の一部を多目的エリアとしており、その他の活用についても検討を行います。</p>	C
3	<p>新庁舎建設を50年に一度の「街をつくりなおすチャンス」と捉え、中心市街地活性化への都市計画と並行して進めるべきである。なぜなら鳴門市の中心商店街もあと数年のうちに全て築50年を迎え、建て替えの時期を迎えようとしているからである。</p> <p>平成20年徳島銀行、平成28年香川銀行、そして平成30年には徳島信用金庫が大道、本町の中心商店街からいなくなった。何もなければ阿波銀行も大道商店街からいなくなることは避けられない問題である。幸いなことは半世紀前の都市計画による他に例を見ない道幅のおかげで、少しさびしくなったとは言えいろんなイベントを成功させ得る「地の利」と元気が大道にはある。事業を進めるにあたって最大の問題でもあり、財産にもなる「人の和」も醸成されている。補助金をもらうことに拘わり、目の前ある「チャンス」を失うことのないよう、大所高所に立って議論していただけることを熱望します。</p>	<p>コンパクトな都市づくりを進めるとした市の将来都市構造、行政サービス拠点の位置づけ等については、市の都市計画マスタープランに定めており、新庁舎建設基本計画では、当該計画との整合性にも配慮を行っています。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
4	<p>・基本計画案では、まちづくりの観点について議論できていないように思えます。鳴門の未来をしっかり考え、基本計画に取り入れてください。</p>	<p>コンパクトな都市づくりを進めるとした市の将来都市構造、行政サービス拠点の位置づけ等については、市の都市計画マスタープランに定めており、新庁舎建設基本計画では、当該計画との整合性にも配慮を行っています。</p>	B
5	<p>パブリックコメントは貴重な市民の声として、3000人アンケートよりも重視してください。よろしくお願いいたします。検討しますので回答ではなく、しっかり回答をお願いします。まちに賑わいを生む施設となってほしい。この機に、鳴門市の活性化及び発展を考え、そのことを基本計画に入れるべき。</p> <p>鳴門の玄関口にふさわしいデザインとしてほしい。鳴門の発展につながる庁舎にしてほしい。鳴門のまちづくりを考えた庁舎にしてほしい。基本計画ではほとんどまちづくりに関して記載されていません。しっかり議論して基本計画に入れてください。</p> <p>慣れ親しんだ「市民会館」や「本現庁舎」を活用し、市民のためのスペースを計画に盛り込んで。街中で、給食センターのようなかさ上げは止めてください。かさ上げではなく、1階が津波で浸かってもいいような考え方を取り入れ、計画も検討してください。</p> <p>市民会館が担っていたスポーツ民営化活動の機能の代替案についても計画の中で考えて欲しい。基本計画に盛り込んでください。</p> <p>慣れ親しんだ「市民会館」や「本現庁舎」を耐震化し、民間への貸し出し等で活用して欲しい。貴重な近代建築(増田建築)群との調和をはかるためにも、「現市庁舎」「市民会館」「共済会館」については、できるかぎり保存活用する計画が望ましい。増田建築は鳴門市の財産で有ることをしっかり認識してください。鳴門市の未来のために、庁舎以外の用途で利活用をし、もっと価値を高めていく方向でうまいこと考えてほしい。企業とかに活用を募集するなど調査をお願いします。(民間活用や売却等、市の負担にならない方法で)</p> <p>庁舎の集約により、公用車や来庁者の駐車場は減らせるのでは。現状の使用状況をしっかり把握して減らす努力をみせてください。</p> <p>駐車場の平置きはもったいないので、自走式立体駐車場も検討すべき。また、民間に駐車場を建設してもらい、借りるという方法もあるかと思えます。</p> <p>コンパクトな新庁舎を望むのであれば、規模の下限をもっとさげるべきである。例えば8000~12000m²とする。コンパクトにするために、ペーパーレスなどいろいろ考えることがあるかと思えます。どういことを検討したのか、どうしていくのか基本計画に入れてください。</p> <p>増田建築群(市民会館、本庁舎を含めた19施設)の今後どのようにして</p>	<p>まちづくりの観点について コンパクトな都市づくりを進めるとした市の将来都市構造、行政サービス拠点の位置づけ等については、市の都市計画マスタープランに定めており、新庁舎建設基本計画では、当該計画との整合性にも配慮を行っています。</p> <p>現本庁舎の活用について 現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>津波浸水対策について 南海トラフ巨大地震において想定される津波浸水対策については、最大基準水位を考慮した、地盤の嵩上げ、1階部分のピロティ化など、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討します。</p> <p>公用車駐車場の必要台数について 公用車については、定期的に必要台数を見極めながら、維持管理を行っていきます。</p> <p>来庁者用駐車場の必要台数について 市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行ったものです。</p> <p>駐車場等について 必要に応じて、自走式立体駐車場の整備等について、今後の基本設計の中で検討を行うこととします。 駐車場の一部を多目的エリアとすることや、その他の活用についても検討を行います。</p>	<p>B</p> <p>D</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>A</p>

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

No.	意見等の概要	市の考え	反映
5	いくのか議論していますか？今後のビジョンを示して、基本計画に入れて欲しい。それが決まらないまま進むのは納得いきません。	新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。	B

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(2) 第2章3. 「新庁舎の整備方針」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
6	<p>市民会館廃止について、なぜ計画に代替施設の説明がないのでしょうか</p> <p>(1) 市民会館は昨年年末のクリスマスマーケットや子供から社会人に至るまでスポーツ行事の開催施設として、広く活用されており廃止する妥当性がない。</p> <p>①一般市民にとっては市役所は窓口業務のみが便利な場所にあればよく、市民会館の方が必要不可欠な施設である</p> <p>②代替施設としてアミノバリューホールがあるが規模が大きすぎる上、広く県内からの利用を想定しており、また現状市内中心部より遠くなり、公共交通機関使用による施設利用が困難であることから、本計画で市民会館の代替施設が必要である</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしています。その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。</p> <p>当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C
7	<p>市民会館について 計画の中に市民会館が入っていないようですが、代替えとなる建物はあるのでしょうか？ 今後新しく建設するのでしょうか？ 現在の市民会館は、市庁舎と同様に古くて、決して使いやすい快適な建物とはいえません。 今まで、厳しい財政状況の中、修繕や改修工事などほとんどせずにだましまし使ってきた結果が現在の建物です。しかし、市民に愛され活用され、親しまれてきた建物です。桑島の鳴門市体育館で代替えできるとは考えられません。市民会館をつぶして新庁舎を建設するのは、いかなもののでしょうか？庁舎建設にあわせて、改修工事をすればまだまだ使用可能な建物であると考えます。</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしています。その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。</p> <p>当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C
8	<p>P5基本方針の文章への質疑 市民が集う様々なイベントが開催されている市民会館を解体し、正にその場所に主たる機能が市職員のオフィスである市庁舎を建設し、なぜ、「これまで以上に、市民に親しまれ、市民の絆をはぐくむ『つながりの拠点』となることを目指す」ことが出来るのでしょうか？言っていることとやろうとしていることが真逆と感じられましたが、具体的方針とともにその真意をご教示ください。 今後の市民会館の機能を確保する方策がないとするならば、新庁舎建設を契機に市民の絆をはぐくむ場所が一つ失われてしまった、と感じてしまうのですが…。</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしています。その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。</p> <p>当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
9	<p>【市民会館の代替施設の整備】 現在、市民会館はスポーツ、文化イベントが数多く行われ、市民にとっては無くてはならない施設です。先日のクリスマスマーケット、バザーの様に、市民が集まれる貴重な施設です。今回、これを解体した跡地に、新庁舎を建設する計画案になっていますが、市民のためのスポーツ、文化イベントの代替施設は、どこに整備されるのでしょうか？（総合運動公園は、県の施設なので市民は使い辛く、また予約がいっぱいです。） 市民会館は、20年間で約10億円の維持費がかかるため解体されることなので、この金額以下で、現在と同等以上の整備、立地で実現してください。 もしくは、文化イベントの代替施設を、現本庁舎を改修して設置するのであれば、賛成です。（スポーツは別途考えなければなりません） 多くの市民が市役所に行くのは年に1回あるかないかなのに対して、市民会館はスポーツや文化イベントのために年に複数回以上、利用しています。市役所は、職員のオフィスに過ぎません。 私は、防災・行政事務効率化の観点からの庁舎建替え自体には賛成ですが、仮に上記の市民活動の場の代替計画がなされていないのなら、市民活動の場を奪って、その上に市職員のオフィスを新築するという、職員最優先・市民活動軽視と感じ、今回の方針には反対せざるを得ません。</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となりました。 今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしています。その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。 当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C
10	<p>市民会館 市民会館の代替施設案を示して頂きたい。 コスト比較において、市民会館の場所に新市庁舎を建設するのは仮設庁舎の建設を避け、インシヤルコストを下げることでと認識していますが、壊される市民会館の代替施設についてのコストが無視されています。市民会館は市民にとって様々な活動に使用されており、それが無くなるとは、市民活動にとって多大な損失です。 是非、代替施設をどう考えているのかを計画案に盛り込み、コスト比較にも計上して頂きたいと思います。</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となりました。 今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしています。その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
11	<p>市民会館の機能は、この場所に必要です。 昨年末、クリスマスマーケットに参加いたしました。凄く良かったです。スカイランタンの灯が外から見ると市民会館もランタンようになってました。このようなイベントは鳴門市民にとってこの場所に必要であるとおもいます。市民会館の機能はどこにいくのでしょうか？また建築するにはどのくらい費用がかかりますか？市民会館建設費も計上する必要があるかと考えます。市民会館を残し、市役所庁舎東側を半分解体すると仮設費はかかりますが、機能は損なわないと思います。</p>	<p>市民会館については、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。 今回、新庁舎の建設にあたり、市民会館を解体撤去することとしていますが、その建替えや機能の継続などについては、別途検討を進めます。</p>	C
12	<p>現市民会館の機能移転先 ・市民が愛着を持っており、稼働率の高い市民会館を解体するならば、市は、代替地、代替案を示すべき。非常に多目的に利用できて利便性が高かった。今後も、市庁舎に隣接する新市民会館の機能が必要である。</p>	<p>市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。 当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C
13	<p>市民会館について 計画案を拝読した限りでは、解体される市民会館の代替施設について触れられていません。 現市民会館は市民の様々な活動の受け皿として活発に利用されています。代替施設も考えないままに解体されてしまうと活動の行き場が無くなります。県の施設であるアミノバリューホールは、現在でも予約が取りにくい状態ですが、今後は東京オリンピックの合宿地等の理由で、ますます難しくなることが予想されますので、鳴門市内での市民活動、社会活動、スポーツ等の活動の場が減少することを考えないままに計画を進めることには反対です。 市民会館を解体しその場所に新庁舎を建てることで、仮設庁舎を建てるコストを削減していますが、その際に、市民会館の代替施設を建てるコストを計上して頂けないでしょうか。 よろしくお願い致します。</p>	<p>市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。 当面は、勤労者体育センターや、ボートレース鳴門のなるちゃんホールやROKU等の地域開放型施設、徳島県アミノバリューホール等の代用を検討しており、できる限りご不便をおかけしないように努めます。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
14	<p>市民会館の建て替え及び新庁舎建て替え同時進行について</p> <p>(1) 市民会館を南側の多目的スペースに建設し、駐車場が不足であれば、立体駐車場の併設検討する。 これにより津波による公用車の水没のリスク軽減と津波避難所との併用も可能となる。</p> <p>(2) 市庁舎内に多目的スペースを併設予定とのことですが、小規模になる可能性が高く、またセキュリティ等の問題で休日の使用に制限がかかる懸念も高いことから実用性が低くなると考えられるため、同時に市民会館の建て替えを進め一括受注等によるコスト削減を図るべきである。</p> <p>(3) 従来より短期間での施設更新を前提とした建築単価、施設管理計画を立てる事で施設維持管理費を削減し、事業に対する総費用を下げる。</p> <p>(4) 新庁舎建て替えとの同時進行をする事で設計等に配慮し事業費削減図れないか。</p>	<p>市民会館については、その建替えなどについて、別途検討を進めます。</p>	C
15	<p>市民会館の移転について</p> <p>「基本計画」と有識者による検討委員会では市民会館あとに新庁舎を建て、複数ある市役所の建物を統合して新庁舎に移転し、その後現庁舎と共済会館を壊し、広い駐車場にするとされています。市民会館が担っているスポーツや文化活動を建設中やその後行う活動場所については十分に検討されていないと思います。観客席は多目的に利用できるし、地下にはシャワー室や奈落までであると聞き驚きました。そこまで現在使われていないことが残念です。増田建築は残してほしいと思いますが、そこに新庁舎を建築となれば市民会館の役割を移転しなければなりません。新庁舎の1階に市民のいこいのスペースをとるようになっていますが、運動やイベントができるような広さではないと思います。</p> <p>大道の商店街も50年になり老朽化しきており金融機関は移転し、このままでは衰退の一方となるので若い世代の方々が頑張る街の発展につなげようとしています。「未来の鳴門を考える市民会」で聞くところによると、鳴門駅の西側や郵便局前など私有地として候補にあがっている土地は地権者間での話しが比較的まとめやすいとのことで、候補地に挙げられているようです。民間企業と協力して建設して市が借りるなどすれば市の経費も抑えられるし、駅に近いので公共機関を使用しても利用しやすく、商店街の発展や町づくりにも大きな役割を果たすのではないのでしょうか。ぜひご検討をお願いします</p>	<p>市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
16	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館ですが、市民が愛着を持っており、稼働率の高い市民会館を解体するならば、市は、代替地を示すべき。 	市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。	C
17	<p>市民会館の機能移転先</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間2万人以上の利用がある市民会館です。市民が愛着を持っており、稼働率の高い市民会館を解体するならば、市は、代替地を示すべき。 	市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。	C
18	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館の代替地を基本計画に盛り込んでください。 基本計画だけでなく、基本設計段階においても市民の意見を反映できる仕組みを作って欲しい。 基本設計の業者は、いい建物にするためプロポーザル方式で決定してください。 基本計画(案)の様に、まちの中心部が巨大な平面駐車場になってしまうのはもったいない。自走式駐車場の検討もすべき。 コンパクトな新市庁舎を計画するために、延床面積の下限値は設定しない方が良い(設計者から自由なアイデアを求めた方が良い)最大でも10,000㎡程度にしてほしい。 庁舎の集約により、公用車や来庁者の駐車場は減らせるのでは。現状の利用状況を示して台数を考えてください。 働き方改革の導入により、職員の車通勤を見直すことで、職員駐車場も減らせるのでは 現在の車社会への対応も重要であるが、公共交通の利用促進を進めるためにも公共交通との接続を考えては 自走式立体駐車場も検討すべき まちなかに巨大な平面駐車場はもったいない そもそも、計画前に、現在の駐車場利用実態調査を実施すべき 現本庁舎の保存について 民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべき 市民会館、本庁舎は、増田友也の最初期の建築であり、観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。 	市民会館について 市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。	C
		設計者選定について 設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。	B
		自走式立体駐車場について 自走式立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討を行います。	A
		新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中で、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。	B
		来庁者用駐車場の必要台数について 市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行ったものです。	B
		公用車駐車場の必要台数について 公用車については、定期的に必要台数を見極めながら、維持管理を行っていきます。	C
		職員駐車場について 職員の車通勤のあり方についても、今後適宜見直しを図っていきます。	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
18		<p>公共交通との接続について 利用者の利便性を促進するため、庁舎敷地内へのバスの乗り入れについて検討します。</p>	B
		<p>現本庁舎の活用について 現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
19	<p>【建設位置・解体有無の判断について】 P4には、「市民アンケートの結果や施設の最適配置の観点などから、現本庁舎、共済会館、市民会館などについては解体撤去し、新庁舎を建設」とありますが、下記3点について回答して下さい。 判断の根拠になった、 1) 「市民アンケートの結果」のうち、何を重要視して、結果を導いたのでしょうか 2) 「施設の最適配置」については、具体的には何を検討をされたのでしょうか。「A. 庁舎敷地内の施設配置」なのか、「B. 鳴門市中心市街地における公共施設の配置」なのか、「C. 鳴門市全域における公共施設の配置」なのか、「D. その他」なのか。 なお、現在の方向性を結論とするならば検討済みであるはずの、庁舎機能ではない、市民の文化・スポーツ活動の場は、鳴門市内のどこに配置するのが最適という結論になったのでしょうか。 3) 観光資源、税収アップの可能性を秘めている、「現本庁舎、共済会館、市民会館」については、活用した場合のメリットについて、どの様に試算し、また市民に問いかけたのでしょうか。機会損失の金額も含めて検討すべき観点であるものの、未記載のため、回答して下さい。</p>	<p>市民アンケートについて 新庁舎の整備方針を検討し、結果を導くにあたり、市民アンケートでは、新庁舎の建設場所、重要視する項目、現本庁舎に関する項目などを参考としました。</p>	D
		<p>施設の最適配置について 基本計画38ページの「(4)新庁舎の配置・ゾーニング」のとおりです。</p>	D
		<p>現本庁舎等の活用について 現本庁舎や共済会館、市民会館の活用に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(3) 第4章2. 「ユニバーサルデザイン」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
22	<p>新庁舎を設計する段階からユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインに配慮すべきではないか</p> <p>新庁舎建設において、基本計画及び設計段階からUD・CUDに配慮したものにすべきと思います。競艇場ができたあとに、「バリアフリー点検会」が行われ、一般市民・視力障害の方・肢体不自由の方・高齢者・中学生・高校生・大学生・市職員など多くの人が参加しました。</p> <p>新しい、コンパクトな競艇場に感動しつつも、UD・CUDに対して十分な知識のない人の設計だったためかどうかはわかりませんが、随所にダメ出しが出てきました。ひどかったのは、ピクトサインです。どのサインを見ても「鳴門の渦」をイメージしたかったのか、渦巻き状に変形させているため、わかりにくく、見てもこれは何を表しているのか？と疑問に思う人が多かったです。鳴門市民は渦をモチーフにしていると理解しても、専門家からは最低のピクトサインという評価がでました。小さなピクトサインですが、訪れる人にとっては非常に大切なものなので、職員が変更を依頼できる段階でデザイナーに意見を言えなければ意味がないと思います。出来上がってからの変更や修理は経費の無駄使いです。</p> <p>鳴門市はUD・CUDについては日本では先進地なので、お手本になるような庁舎にすべきと思います。配慮するのに費用はかからないので十分な検討をお願いします。</p>	<p>新庁舎では、高齢者や障がい者をはじめ、来庁者や職員の誰もが安全で快適に利用できる庁舎とするため、ユニバーサルデザインを導入することとしています。</p> <p>また、わかりやすさを優先した案内サインを導入することとし、カラーユニバーサルデザインへの対応をはじめ、壁や柱面の色分けや、課係名に加えて手続き内容を表示する看板などの視覚情報や音声情報、触知情報などの設備機能を検討し、初めて訪れた来庁者にもわかりやすい庁舎とします。</p>	B
23	<p>多くの地方自治体で人口減少、少子化に歯止めがかからず、地方消滅の危機が指摘されており、大胆な施策が求められている。子供連れの来庁者のために授乳室やキッズスペースなどの設置が検討されているが、職員や議会議員、一般市民などが幅広く利用できる子育て支援サービス室(保育、一時預かり、子育て相談など)を設置し、専門の職員を配置し、定期、不定期で対応できるようにしてはどうか。全国に先駆けて新しい施策を展開し、市内の民間企業の子育て支援の充実を促すことにより、都会で子育てに苦労している優秀な人材を呼び込めるのではなかろうか。</p>	<p>子育て支援サービスについては、拡充する方針であり新庁舎を含めた、公共施設の利活用の中で検討します。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
24	<p>駐車場について 現在の計画案では、現市庁舎及び共済会館の場所が駐車場として計画されています。その規模は、合わせて240台になりますが、果たしてそれだけの台数が必要でしょうか？計画案に示された地図では分かりにくいですが、現在も地図から南の文化会館までの間に広大な駐車場用地があり、結果このエリアが青空駐車場ばかりになってしまいます。鳴門市の中心市地の風景としてアスファルトの駐車場ばかりが広がる風景が果たして良いものなのでしょうか？ また、半数は職員用駐車場と思われま。現在の職員駐車場よりも庁舎に近くなり、職員にとっては利便性が向上しますが、その事により市民が得することは何もないと思われま。見方によっては市民の大事な施設である市民会館が職員用駐車場に置き換わるようにも思えま。職員用駐車場は現在そのまま使用し、市民のための施設(市民会館に代わる施設)を計画してください。</p>	<p>基本計画に示す駐車場台数計240台の内訳は、公用車110台と来庁者用駐車場130台となっています。 来庁者用駐車場については、市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行ったものであり、公用車については、定期的に必要台数を見極めながら、維持管理を行っていくこととしていますが、必要に応じて、自走式立体駐車場の整備等について、今後の基本設計の中で検討します。</p>	A
25	<p>来庁者駐車場の必要台数再確認を要望 一般的な計算によると、来庁者駐車場の必要台数は100台程度となりました。現在130台として計画されていますが、地域特性を反映した妥当なものか、現在の利用状況の調査が必要です。粗い検討により算出された駐車場台数の確保を理由として、まちづくりや観光に活用できる可能性のある現本庁舎を解体するならば、大きな機会損失、市民の不利益となるため、必要台数を精査してください。</p>	<p>来庁者用駐車場の必要台数については、市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行いました。 また市民アンケート等における駐車場の拡充等の意見を踏まえ、さらに基本設計の中で具体化していきます。</p>	B
26	<p>駐車場の適正化 ・計画前に、現在の駐車場利用実態調査を実施し適正な駐車場の台数を策定した方が良い。(庁舎の集約により、公用車や来庁者の駐車場は減らせるのでは) ・働き方改革の導入により、職員の車通勤を見直すことで、職員駐車場も減らせるのでは ・現在の車社会への対応も重要であるが、公共交通の利用促進を進めるためにも公共交通との接続を考えては ・自走式立体駐車場も検討すべき ・まちなかに巨大な平面駐車場はもったいない(土地の有効活用)</p>	<p>来庁者用駐車場の必要台数について 市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行ったものです。</p> <p>職員駐車場について 職員の車通勤のあり方についても、今後適宜見直しを図っていきます。</p> <p>公共交通との接続について 利用者の利便性を促進するため、庁舎敷地内へのバスの乗り入れについて検討します。</p> <p>自走式立体駐車場について 自走式立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討します。</p>	B C B A

No.	意見等の概要	市の考え	反映
27	<p>駐車場のコンパクト化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の集約により、公用車や来庁者の駐車場は減らせるのでは。現状の利用状況を示して台数を考えてください。 ・働き方改革の導入により、職員の車通勤を見直すことで、職員駐車場も減らせるのでは ・現在の車社会への対応も重要であるが、公共交通の利用促進を進めるためにも公共交通との接続を考えては ・自走式立体駐車場も検討すべき ・まちなかに巨大な平面駐車場はもったいない ・そもそも、計画前に、現在の駐車場利用実態調査を実施すべき ・公用車がここまでの台数が必要なのか見直すべき。タクシー利用も検討の余地あり。 	<p>来庁者用駐車場の必要台数について 市の人口や自動車保有率、一般事務所における来庁者の集中率や滞留時間等を参考に試算を行ったものです。</p>	B
		<p>職員駐車場について 職員の車通勤のあり方についても、今後適宜見直しを図っていきます。</p>	C
		<p>公共交通との接続について 利用者の利便性を促進するため、庁舎敷地内へのバスの乗り入れについて検討します。</p>	B
		<p>自走式立体駐車場について 自走式立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討します。</p>	A
28	<p>●鳴門市庁舎計画 鳴門市庁舎を8階建てにして、屋上に、ヘリポート。7階は、マンション。6階は、会社。5階は、レストラン、商業スペース 4階～2階は、市役所 1階は、駐車場 屋上に車の駐車場を作り、消防車、救急車、パトカー、電気自動車蓄電機能つき、8階までの車用スロープをつける。 10階建て31mを越さないように設計。31mを越すと、建築基準法、消防法などからいろいろ法的に条件が厳しくなりコストが一気に跳ね上がる。31mを越さない建物に非常用エレベーターを設置した場合のコストは、いくらか。ゆめタウンみたいに、屋上へ駐車場。スロープの面積が必要。消防車までもを考えると非現実的。曲がる車の軌跡が大きい、車体高さがある。新庁舎に備えるのではなく、南側の共済会館横の敷地に、3階建てほどの立体駐車場(自走式、スロープ付き)を新築する。その上にヘリが離着陸できるスペースを確保するなど。当然、非常エレベーター付き。屋上に太陽光発電も 徳島県庁は、自転車置き場の上に太陽光発電がある。徳島県庁は、駐車場は行き先のスタンプをおしてもらい無料2時間まで。鳴門市も真似をする。職員駐車場はなし。ただし車いすの方、妊産婦等は除外。まず、鳴門市職員から、脱車社会を。公用車は、原則廃止。シェアカーを使う。29年度の公用車に使った経費を算出。シェアカーとどちらが安いかわかる。鳴門市民が車の運転ができなくなっても、バス、モノレール、タクシーの相乗り、自動運転バス、空飛ぶ車など先進技術革新で交通網の確立 32年度までに着手だが、消費税が、8%のまま建築しようと思ったら、いつまでに着手か。住居は、着手していたら、8%で大丈夫と聞いたが、</p>	<p>自走式立体駐車場について 自走式立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討します。</p>	A
		<p>ヘリポート機能について 災害時の利用を想定したヘリポート機能の整備についても検討します。</p>	B
		<p>太陽光発電設備について 費用対効果を見極めながら、太陽光発電設備の設置等、再生可能エネルギーの活用を検討します。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
28	<p>どうか。2%は、大きい。島田小学校は、耐震化できている。もし、トイレ様式化、バリアフリー、エレベーター、手すり、スロープ、ユニバーサルデザイン化したら、いくらぐらいかかるか。プールも使いたい。周りの道路整備もしてほしい。</p> <p>・トイレ 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン 平成28年(2016年)4月内閣府(防災担当)別紙1参照 防犯ブザー設置 屋内はトイレ専用履物 こどもといっしょに入れるトイレ設置 荷物を置くための棚やフックを設置 介助者も入れるトイレを設置 外国語の掲示物を用意する等 ルールに合った車いすの方が、一人でトイレを使えるトイレを階ごとに必ず1個以上設置ドアは、きたじま田岡の整形外科のトイレのように手をかざして自動でオープンする。電気は自動が望ましい。(LED) スロープは、ゆるやかな段差で、あわぎんホールのように介助者がいるスロープは厳禁</p> <p>・エレベーター 2台以上設置 1台は、車いすが2台入り、車いすの方が回転できるスペースを確保 開閉時間が延長できるボタンを2ヶ所つける。同乗者の方が進んで押してくれる。玄関の入り口も自動ドアで広くしていると車いすは、ひとりでも出入りしやすい。</p> <p>・非常階段 非常階段は、避難しやすく、低めの高さ、手すりをつける。外の場合、屋根がある方が、望ましい。あと電気必要。(人に反応してつくLED)思いやり駐車場 車から建物まで屋根をつける。思いやり駐車場に介助者が必要なときに問い合わせインターフォンか、☎、☎番号を表示する。</p> <p>・稼げるなると市庁舎 命名権 オープンイベントに徳島県出身米津玄師さんを呼ぶ ふなっしーを呼ぶ チームラボ猪子産を呼ぶ 三重大学のよさこいチームを呼ぶ 大杉漣さんの映画上映 マンションの5部屋をゲストハウスにしておためしなると生活を楽しんでもらう。ふるさと納税で募集する。店についても1スペースは、店を持ってない方に1か月貸し出す。売上の10パーセントを徴収 婚活イベントを2か月に1回開催。なると紺活で1つのグループで丸となってキューピットになる。阿南市では、1年に予算が、200万円まねをして人口を増やしたい。なると市のホームページの元号については、両方併記し、現行化しているかを年2回チェック平成31年度(2019年度) 木のぬくもりのある庁舎へ</p> <p>・番外 鳴門市民会館を残し、リニューアルし、耐震化バリアフリー冷暖房完備にしてほしい。鳴門市文化会館の未来像を描き、トイレだけは早くバリアフリーしてほしい。マンホールのふたをデザインマンホールにする</p>	<p>その他について 基本設計等、今後の参考とします。</p>	C

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(4) 第4章4. 「耐震・浸水対策機能」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
29	<p>新庁舎の位置の再検討を求める、嵩上げコストなしに位置検討できない。</p> <p>新庁舎は、現市民会館の位置に建てることとなっておりますが、この位置であれば、嵩上げが必余のこと、建築コストは示しておりますが、嵩上げコストは示されておられません。有識者会議の中で、三木政策官が嵩上げ工事にかかるコストは必要であれば上限なしと言われてましたが、嵩上げ工事に100億円かかるのであれば、この場所に新庁舎を建てるのでしょうか？新庁舎の位置は、嵩上げコストと建築コストを見極め決める必要があります。嵩上げ工事はいくらかかるのか、総合的に判断して概算コストを出す必要があります。</p>	<p>南海トラフ巨大地震において想定される津波浸水対策については、最大基準水位を考慮した、地盤の嵩上げ、1階部分のピロティ化など、さまざまな工法による対策を、そのコストも踏まえて基本設計の中で検討します。</p>	D
30	<p>浸水対策機能について 近隣に住むものです。</p> <p>計画(案)の16ページに敷地の嵩上げが謳われています。庁舎としての防災対策は理解できますが、敷地の無理な嵩上げは、周辺住宅への影響が大きく、浸水時には庁舎の嵩上げにのせいで、行き場を失った水が我が家に押し寄せる可能性も懸念されます。どうか常識的な浸水対策を施すようお願いいたします。</p>	<p>南海トラフ巨大地震において想定される津波浸水対策については、最大基準水位を考慮した、地盤の嵩上げ、1階部分のピロティ化など、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討することとしており、あわせて敷地内の排水計画についても整備します。</p>	C
31	<p>現庁舎を耐震化する事は必要であるが、津波浸水想定域にあるため、災害が起きた時、行政がすばやく動けるため、移転は検討できないか。</p>	<p>新庁舎における水害対策については、洪水ハザードマップや南海トラフ巨大地震において想定される津波の最大基準水位を考慮した、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
32	<p>新庁舎1階をピロティとし、来庁者駐車場としての利用を提案 新庁舎1階をピロティとして駐車場に利用すると、新庁舎1階を約70台(=2,300㎡÷30㎡)程度の駐車場として活用できます。北敷地内の余剰地を合わせれば来庁者駐車場約100台の確保は可能であり、北敷地内において①新庁舎新築、②100台程度の一体的な来庁者駐車場、③現本庁舎の存置は共存可能ではないでしょうか。精緻な台数算出と建築の配置計画の検討を行ってください。</p> <p>徳島赤十字病院増築棟のように、雨の日に濡れずに建物へアクセス出来るメリットもあります。</p> <p>津波対策としては様々な方法を検討する、との政策監の発言を予算委員会のビデオで拝見しましたが、盛土は法面で土地が有効に活用できず、加えて市庁舎が周辺より一段高く、市民を見下ろす、まるで石垣の上に立つ天守閣のような権威主義的な庁舎の施設計画となってしまうようで、やや心配が残る点を申し添えます。</p> <p>本来は、周辺地盤からフラットにアクセスできるフロアレベルに多くの市民が使う戸籍・住民票、子育て、福祉等の窓口を設けることが望ましいですが、現庁舎位置に建設するなら津波予測から不可能なため、上記に限らず、逆に床を上げることがメリットとなるようなアイデアを期待します。</p>	<p>南海トラフ巨大地震において想定される津波浸水対策については、最大基準水位を考慮した、地盤の嵩上げ、1階部分のピロティ化など、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討します。</p> <p>また、新庁舎では、周辺環境などと調和した親しみのあるデザインを検討します。</p>	B
33	<p>現行の計画に災害発生時の具体的対応が言及されないのは適切でないのではないですか。</p> <p>(1) 1F～2Fは津波の到達が懸念され、業務の復旧に時間を要する</p> <p>①道路の使用不能となることも想定され仮庁舎等を適切な場所に設置し業務を継続する必要がある</p> <p>②候補地として高速道路に隣接し物資集積所としても有望な環境センター跡地の解体整備と南側に隣接する木津城山公園に備蓄倉庫を設置し、現状の市民会館のような施設を併設し仮庁舎として有事には対応可能にするべき(進入路の拡幅等を徐々にでも進める必要がある)</p> <p>(2)現在の計画では立体駐車場の併設がないが、公用車が水没し使用不能となることは想定していないのか。もし想定していないなら対応を考えているのですか(消防署車両にも同じことがいえます。避難する事は困難ではないですか)</p>	<p>(1)について 今回の新庁舎建設基本計画においては、新庁舎建設時点で想定される最大の津波被害の想定を用いることとしており、浸水後の事業継続、早期復旧に配慮した整備を検討します。</p> <p>(2)について 公用車用の立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討します。</p>	C A

No.	意見等の概要	市の考え	反映
34	<p>南海トラフ巨大地震が近づいており、新庁舎は防災対策が極めて重要である。まず、現位置で地震津波対策が万全か、市民の関心は非常に高く不安に思っ高台移転の声も結構多い。基本設計で検討するとされているが、液状化対策も含め十分に検討され、検討内容を早く公表してほしい。</p> <p>また、庁舎敷地は形状が悪く、特に新庁舎の予定場所は縦深が浅く、周辺の緑地や空間スペースが公共施設としては少ない気がする。市道市役所東線の西側にある民地を活用できるように、市所有地と交換するとか、市役所線の付け替えとかして盛土など防災対策を強化できないだろうか。</p> <p>耐震機能については、構造体、建築非構造部材、建築設備についてそれぞれ国の基準に適合させるとされているが、大きな災害には常に新たな想定外が発生する事態となるので様々な面で冗長性の確保が必要と思われる。</p>	<p>防災対策について 地震や津波、液状化といった災害については、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討し、各事業段階において、その進捗状況を市民に適宜情報開示します。</p> <p>ご提案の市役所区画の一体的整備についても、基本設計の中で検討します。</p>	B
35	<p>新市役所の建設計画について 昨年の関西空港が冠水した台風21号の強風には驚かされました。各地で車が水没し中古車価格が一気に50万円以上、はね上がりました。自分の車が見つかった時、都会なら電車やバスを利用出来ますが、鳴門市では車に頼らざるをえません。新庁舎の計画案では市役所の建物は災害を想定し、一階はフリースペースを多くとってありますが、駐車場も立体にして公用車などは2階以上に置くべきだと思います。また防災に重きを置かならば、大きな建物を1つ作るより、リスクを分散するために2つに分けるべきではないでしょうか。そして文化活動やスポーツの振興にかかせない施設であり、いざというときには避難場所に使用できる市民会館はどうしても建築してほしいです。これから20年後、人口が減少するでしょうから、新市役所は計画より規模を縮小し負の遺産とならないようなコンパクトな建物でよいと思います。</p> <p>さらに言うなら、気候不順で巨大台風は近い将来にまた来ると思います。あの災害の前なら、現在の場所に建てるという建築案に賛成していたでしょうが、これらの不安がどうしても頭をよぎるので、都市計画から見直し高台に新市役所を建築するというのが私の考えです。そうすれば水の心配はないので市役所の一階部分も部屋として利用でき、床面積も縮小できるでしょう。</p>	<p>公用車駐車場について 公用車用の立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討を行います。</p> <p>庁舎施設の分散について これまでも庁舎施設の分散による不便さが市に対し指摘されてきました。市としては、計画案どおり、利便性や業務効率の向上、維持管理コストの縮減に向けた庁舎施設の集約を進めます。</p> <p>市民会館について 市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。</p> <p>新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	A D C B

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

No.	意見等の概要	市の考え	反映
35		水害対策について 新庁舎における水害対策については、洪水ハザードマップや南海トラフ巨大地震において想定される津波の最大基準水位を考慮した、さまざまな工法による対策を基本設計の中で検討します。	B

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(5) 第4章6. 「情報発信・交流機能」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
36	<p>市民交流の場所について 市民交流とは異なるかもしれませんが、市民や旅行者なども利用できる食堂の設置を希望します。近年こども食堂や健康に配慮された社員食堂が話題に上るように、安価で安心して食事ができる場所があれば、市民福祉の向上に大いに役立つと思います。また地産食材を取り入れれば市外からの来客などへのPRにもなると考えられます。</p>	<p>市民交流スペースの具体化については基本設計で検討します。</p>	C
37	<p>行政と市民の協働の時代であり、交流スペースは、さらに充実したものにしてほしい。NPOなどボランティアの活動に必要な会議室や作業に必要なスペースを平日に限らず土日市民優先のスペースとして確保してほしい。</p>	<p>市民交流スペースの具体化については基本設計で検討します。</p>	C
38	<p>情報発信・交流機能の削除を要望 (1)情報発信スペース 市政情報・観光情報の発信は、窓口の待合スペースで兼ねれば良いと考えます。待ち時間の暇つぶしにもなりますし、市民の市が発信する情報への接触機会が増えると思います。 情報端末の設置は不要と考えます。これほどパソコンとスマートフォンが普及している時勢に、誰が市役所まで来て情報を取得するのでしょうか。外部からはアクセスできない、イントラネット内の機密情報等に触れられるのでしょうか。もしかしたらパソコンとスマートフォンを持たない・操作できない方への配慮のつもりなのかもしれませんが、そのような方が市役所にパソコンがあるから、と言う理由で来庁し、使用するイメージが湧かないのですが、どのようなお考えなのでしょうか。 (2)交流スペース 「会議室として利用できる空間の設置」とありますが、特別にこのようなスペースは設けずに、平日に市職員が使う会議室を、休日は市民に開放してはどうでしょうか。調査が必要ですが、市民が使いたいのは休日が多いように思います。同様に、稼働日数が少ない議場も、市民への貸し出しを検討してはどうでしょうか。設えによっては、ミニコンサートやシンポジウムを開催出来そうですし、解体することとなっている市民会館の機能の一部を代替できる可能性があります。 阿南市庁舎の2階の市民開放ゾーンは、私が見学した際には利用者が誰もおらず、有効に活用されているとは言い難いものでした。しかし当然</p>	<p>情報発信スペースや交流スペースのあり方については、今後の基本設計の中等で検討します。</p>	C

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

No.	意見等の概要	市の考え	反映
38	<p>ではありますが、その床にイニシャルコストとランニングコストは掛かっています。</p> <p>以上の指摘は、具体的機能を持たない諸室を設定しておくことが、床面積の拡大に歯止めをかけられず、なし崩し的に事業費増大を招く原因となる、との懸念によるものです。情報発信や交流は聞こえの良い言葉のため、市当局・コンサル・設計者いずれも使いたがる嫌いがありますが、今一度、鳴門市におけるその必要性を再考下さい。設置するならば、基本計画案では約500㎡程度の想定と推察しましたので、その建設には2.25億円が必要であり、その投資に見合う効用が得られるか、判断が必要です。</p>		

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(6) 第4章9. 「ライフサイクルコスト縮減」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
39	<p>現庁舎以外の場所に建設するには、市全体の将来のまちづくりの構想など、考えておかなければならないことが多すぎる。それらを交付金の対象となる期限までにまとめることはできないだろう。また、できたとしても拙速な構想には悔いが残る。津波の心配は消えないが、個々の対策は考えられる。現状は、そうした災害時に対応の中心となることができないような老朽化した庁舎の建て替えを、少しでも有利な条件に合わせて建設しようとしているのであり、現庁舎の場所に建設することがより良いと思う。</p> <p>現庁舎は、雨漏りが酷く、鉄骨の下部などは相当に傷んでいると思う。リノベーションによって抜本的な改善ができるのか非常に不安である。耐震化では大きな鉄骨で補強されることになるだろう。巨費を投じて、当面、老朽化への対応や耐震化ができたとしても、近い将来、また雨漏りや使い勝手の悪さでその修復・改善に多額の費用がかかることも考えられる。</p> <p>現庁舎や共済会館の民間活用についても、改修当初一時的に民間事業者は興味を示すかもしれない。しかし、現在の市役所周辺を見てもわかるとおり、長い目で見て民間投資が集まる状況は考えられない。市庁舎の建て替えを機に、何とか活性化の核にならないかとの思いはわかるが、現庁舎と共済会館を残すことにリスク以外考えられない。</p> <p>規模については、今後人口減少が見込まれている中で、コンパクトなものにすべきだということも言われている。しかし、市の業務量は、現在の正規・非正規を合わせた職員数を見ても、人口の減少に比例して減るものでもない。今後の高齢社会に合わせて、できるだけ便利で使いやすい庁舎といった観点から、ある程度余裕をもった規模も必要ではないか。</p> <p>市民会館に代わる施設は、体育活動については、この機会に、小・中学校の体育館の有効活用を考えてはどうか。現状でも、夜間や休日は使用していない施設があるのでは。特に、小学生の屋内スポーツなどは、学校の体育館で競技が行われれば、近頃、スポーツクラブ(少年団)のない小学校もあり、地域の人々も身近で観戦することができる。</p> <p>文化活動は、文化会館やうずしお会館、ドイツ館などの施設のさらなる活用を検討してはどうか。いずれにしても、庁舎建設で多額の負担を背負うことになる時に、急いでつくることから少し視点を変えて、この際、他の施設の活用をもっと考えてはどうか。</p> <p>現庁舎は、著名な建築家の設計にあっても、今後維持する負担はあまりにも大きすぎると思わせる現状になってしまった。新庁舎については、建設当初からの適切な維持管理を行い、現庁舎のような老朽化を少しでも遅らせることができるよう望むと同時に、水道光熱費や日常の維持管理費もできるだけ少なく済むような施設・設備にしてほしい。</p>	<p>新庁舎では、従来のような対症療法的な維持管理ではなく、予防保全的な維持管理に努めること等で建築物の長寿命化を図るとともに、維持管理費用、修繕や更新費用などのライフサイクルコストの縮減に考慮した経済効率の高い庁舎を目指します。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
40	<p>庁舎整備に係るライフサイクルコストについて 資料編-18から22ページにおいて、ライフサイクルコストの整理が行われています。ここでは現本庁舎を残した2棟案と、それを解体した1棟案との比較が行われており、どのようなケースにおいても、1棟体制案が6～10億円安価という結論になっています。</p> <p>一方で、計画案に示されている庁舎の平米単価45万円から上記の10億円を逆算すると、床面積2,200平米分に相当します。結果、現在示されている12,000平米という庁舎面積を鳴門市の規模や将来の人口減を考慮した上で10,000平米程度に減らすことで充分賄える計算になります。</p> <p>つまり、1棟案でも2棟案でもライフサイクルコストに大差がないこととなり、上記の試算が恣意的なものに受け取れるのですが、如何でしょうか？</p> <p>もう一度、中立的な視点でのコスト検討をお願いします。</p>	<p>ライフサイクルコストの比較の考え方は、想定する新庁舎、現存する本庁舎を比較し、適正に算出しました。</p>	D
41	<p>ランニングコストの追加検討を要望 基本計画策定業務仕様書の⑩概算事業費について、「イランニングコストの検討」では、運用費、保全費、一般管理費の概算費用を算出するとありますが、基本計画素案内に見当たりません。検討結果を開示していただくか、これから追加検討をお願いします。</p> <p>庁舎規模に関連しますが、ランニングコストを約1万円/年・㎡とすると、仮に将来人口推計に基づいた庁舎規模約8,000㎡と、概算事業費算出にあたり想定されている庁舎規模約12,000㎡の差分である4,000㎡の床を余分に新築・維持運営すると、18億円(=45万円×4,000㎡)のインシヤルコストに加え、40年で16億円(=1万円×4,000㎡×40年)のランニングコスト、トータルで34億円のコスト増を市民が負担することとなります。この財源を使い、教育・福祉・文化など、より市民に直接的に還元できる行政サービスを充実して頂きたく、適切な規模に絞ることを希望します。</p>	<p>ランニングコストについては、「平成17年 建築物のライフサイクルコスト(国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修)」を参考に試算しており、資料編に掲載しています。</p> <p>また、基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(7) 第4章11. 「周辺環境との調和・歴史の継承」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
42	<p>鳴門らしい庁舎とは何か？ 関連があると思われた記述は下記の通りでした。 周辺環境との調和・歴史の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なると環境プラン2004」で掲げられている「水辺と街道によって心と緑をつなげる歴史文化が薫るまち」に基づき、歴史文化的な景観に配慮した庁舎づくりを行います。 ・新庁舎では、周辺環境などと調和した親しみのあるデザインを検討します。 ・周辺には文化会館や健康福祉交流センター(旧勤労青少年ホーム、旧老人福祉センター)など、建築家故増田友也氏が設計した貴重な近代建築が残されています。新庁舎では、地域の歴史的文脈に配慮し、これらの公共建築と調和した施設整備、環境整備を行います。 <p>具体的なイメージが湧きませんが、現時点で鳴門市に具体的な意思はなく、基本設計に委ねるという理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>「鳴門らしい庁舎」の実現に向けては、基本設計と並行し、市民が鳴門の魅力を再発見でき、地域への誇りと愛着を深めるような仕組みを検討するとともに、基本設計業者の選定にあたっての公募型プロポーザル等での提案募集などの方向性についても検討します。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
46	<p>将来人口との関係を踏まえた庁舎面積の追加検討を要望 基本計画策定業務仕様書の⑤新庁舎の規模の算定では、鳴門市の将来人口(鳴門市人口ビジョン)を指標とすることが明記されています。少なくとも本ビジョンに示されている2040年時点の人口約4.5万人での職員数・庁舎規模の検討が必要です。</p> <p>国の基準では現時点の人口5.8万人と職員数に合わせた庁舎規模しか検討できないのは理解しますが、人口減少の趨勢は明らかで10年後には10,000㎡～12,000㎡の床の一部が不要な床になることが明白なため、余剰床の利活用方針を示す必要があります。基本計画素案では書庫、賃貸、減築と例示されていますが、具体的な想定規模、賃貸の見通し、減築コストの提示を求めます。</p> <p>竣工後約10年で訪れる必要床面積変化の課題解決策として、新庁舎竣工時には現本庁舎の一部を市民交流スペース等として活用し、人口減少後にはこの交流スペースを新庁舎へ移転した上で現本庁舎を民間活用、不可能であれば解体することが良いと思います。将来的に不要になることが分かっているながら大きな床面積で新築することは、イニシャルコストに加え、ランニングコストを数億円単位で増大させてしまい、鳴門市の財政を悪化させます。結果、市民にとって利益のない、実質的な単なる増税や市民サービスの低下に繋がってしまいます。これは、本来の市政および新庁舎整備の方針に背くものなので、規模について将来を見据えて、20年後・40年後の人口の推計、職員数の推計を行った上で、しっかりと厳密な、かつ時間軸を持った床面積の推計をお願いいたします。</p> <p>近年竣工した鳴門市の将来人口規模に近い新庁舎規模の参考事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡市庁舎8,681㎡(人口4.98万人) ・喜多方市庁舎7,692㎡(人口4.81万人) 	<p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B
47	<p>新庁舎の規模について 規模は4つの算定と1つの参考から12,000㎡とされていますが、①の総務省基準と参考の国交省基準はどちらも「市民交流や防災機能、福利厚生などに関するスペースは考慮されていません」と記載されています。そして国交省基準が参考とされる理由に「防災機能に関する面積などが含まれておらず」とあります。防災機能が含まれないため参考であるなら①も参考となるかと考えられます。根拠の整合性をご確認ください。</p> <p>また①、②、③はいずれも職員数をベースに算出されていますが、②の比較表からも鳴門市の職員数が他市に比べ多いと見て取れます。今後予想される住民減に伴う職員の減少と④の削減目標(20%であれば11,577㎡)を考えても、また12,000㎡の根拠とされる他市データのばらつきを見ても、規模が適正であるかの再検討が必要かと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>庁舎規模の算定にあたり参考とした「新営一般庁舎面積算定基準」については、国土交通省が所管する国の機関が新たに一般庁舎を建設する際に適用される基準であり、市役所庁舎のように、市民課や税務課、福祉部門などの市民窓口に関する面積や防災機能に関する面積などが含まれておらず、来庁者の目的が多岐にわたる市役所等の公共施設にはそぐわないとされていることから、あくまで参考として取り扱うこととします。</p> <p>また、基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
48	<p>庁舎面積のコンパクト化</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトな新市庁舎を計画するために、延床面積の下限値は設定しない方が良い(設計者から自由なアイデアを求めた方が良い)最大でも10,000㎡程度にしてほしい。 テレワーク、行政手続きの電子化、ペーパーレス化等、これからの社会を反映したコンパクトな新庁舎にして欲しい 人口減少や職員減少の予測を踏まえ、今後余剰となるスペースは別の用途で活用できるような平面計画にして欲しい 	<p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p> <p>また、設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定であり、その中で庁舎規模の圧縮等に関する提案なども求めています。</p>	B
49	<p>鳴門市の将来像</p> <p>計画案には“昭和38年(1963年)に竣工した現在の本庁舎(以下「現本庁舎」という。)は、建築から55年が経過し、「防災拠点機能の不足」「庁舎の分散に伴う業務などの非効率性」「施設及び設備の老朽化とバリアフリー化」「庁舎狭あい化による市民サービスへの影響」などの問題を抱えており、早急な対応が求められています。”とあります。55年経過した現市庁舎が現在の様々な社会の要求に耐えられなくなっています。外から見ていても、一人一台のPCや、空調環境、ネットワーク環境等は55年前には考えられなかったことだと推測します。</p> <p>では、本計画案において、50年後の鳴門市や鳴門市庁舎をどのように想定されるのでしょうか？</p> <p>6ページから示される基本方針では、今現在の課題に対する解決策が述べられているだけで、将来に対して想像力不足と言わざるを得ません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 50年後の鳴門市の人口は何人なのでしょう？その上で職員数や庁舎面積は適正でしょうか？ 240台の駐車場が用意されていますが、50年後の自動運転が普及した社会で車は所有物ではなく、現在の公共交通によく似た共有物になっている可能性があります。その時に計画案ほどの駐車設備が必要なのでしょうか？ 市民サービスは市役所で行うのか？現在でも多くの市民サービスはインターネット等の利用で技術的には賄えるはずで。事実、エストニア等の電子政府先進国では既に運用されています。 <p>20年後高齢者となる我々の世代以下は、こうしたネットワーク上でのやり取りに大きなストレスはありませんので、市役所での対面サービスの多くは必要なくなると思いますが如何でしょうか？</p> <p>これら一見夢物語のような話に議論の余地は無いのでしょうか？現市庁舎が現在の課題に対応しきれないのであれば、これから建てる庁舎が同じ轍を踏まないように、50年後を大胆に想像する力が必要だと思います。でなければ、新しい庁舎は20年後には使い物にならなくなると思います。</p> <p>計画案に将来予測についての内容の増強をお願いします。</p>	<p>鳴門市人口ビジョンでは、2040年(平成52年)における市の人口目標を52,000人としています。</p> <p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
50	<p>【庁舎面積の推計方法】 「5章 1.庁舎の規模 (1)想定面積 (2)他の自治体に基づく面積算定」 に関して、 「鳴門市が選定した他自治体の庁舎事例によると、鳴門市新庁舎の適正規模は、11,267(人口ベース)～13,135(職員ベース)㎡」 「大和高田市が選定した他自治体の庁舎事例によると、鳴門市新庁舎の適正規模は、8,893(人口ベース)～12,004(職員ベース)㎡」 と算出され、差異が存在する。この現象は、鳴門市が取り上げたサンプルの中に、庁舎が大きい傾向にある自治体、職員数が多い傾向にある自治体を多く存在している事に起因することが、客観的な計算により明らかになりました。 添付資料の人口100人当たり延床面積(㎡/100人)で見ると、「鳴門市が取り上げた自治体の平均＝19.4または20.6」と、「大和高田市が取り上げた自治体の平均＝15.2または16.2」と、なり、その差は最大4.4㎡/100人。鳴門市の人口に当てはめると、2,561㎡(4.4㎡/100人×58,206人)の余剰床となり、追加のイニシャルコスト11.52億円(=45万×2,561㎡)に加え、40年で追加のランニングコスト約10.24億円(=1万×2,561㎡×40年)、トータルで21.76億円のコスト増となります。 この金額は、現本庁舎を庁舎以外の用途として整備・保存していく場合に必要であると市が試算する約21.1億円より大きいものとなります。適正規模の庁舎にする事で約21億円を節約し、その財源を、現本庁舎を市民サービス向上や交流人口増加のためなどの、市民にメリットのある公共投資にまわして頂きたく、再度検討をお願いいたします。 庁舎が必要以上に大きいことの市民メリットは何らなく、単なるコスト増であり、税金の無駄遣い、他の市民サービスなどの低下などのデメリットしかありません。</p>	<p>ご指摘の面積算定は、過去10年程度、人口3万～9万人程度の近隣自治体(四国、淡路島)における新庁舎延床面積を参考として試算したものです。 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B
51	<p>2019年に市庁舎の規模再検討を求める 新市庁舎も規模12000㎡は必要ないと思われる。 有識者会議の中で徳島大学の小川教授が示されたように、9000㎡ほどが妥当である。 将来減少する人口のなかで、大きな建物をつくると、それだけの維持管理費が予想されるなかコンパクトシティを目指し掲げるのであれば、鳴門市らしい、独自性を生かした、他県のまちから参考となるような想定規模をだす必要がある。鳴門市が提案する12000㎡とまちづくりの専門家のだした9000㎡とでは3000㎡もの開きがある。建築コストを考えると13億円以上開きがあるのは、なぜなのか？市民のことを考えると負担が少ないほうがいいのではないか。 今後進むAI化のことを考慮すると、事務的経費、人件費もかからないことが予想されることも踏まえ、総務省の基準ではなく、地域機性を考慮した、専門家による規模の再検討を求める。</p>	<p>新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p> <p>基本計画の再検討について 基本計画の再検討は行いません。</p>	B D

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

No.	意見等の概要	市の考え	反映
53	<p>意思はないのでしょうか。良い提案があれば受け付ける、という受け身の態度でしょうか。受け身の態度と仮定して、建築の基本設計でも建築レベルで様々な提案が可能と思いますので、設計者選定時の与件に加え、具体的アイデアを募って下さい。本要望は、その際に面積要件が足枷にならない様に、「最大」の追記を求めるものです。告示15号による基本設計料は床面積にも規定されますが、基本設計料は12,000㎡で計算し、規模削減アイデアも含めて競い、選定された設計者には12,000㎡相当の設計料を支払う、としてはいかがでしょうか。これによって、設計料が減るから規模削減アイデアの提案を差し控える、という設計者の考えを排除することが可能です。また、実施設計料・工事費・維持管理費を削減する素晴らしいアイデアに相応の対価を支払うべき、という考え方です。</p> <p>市の計画として、規模と予算の根拠を丁寧に示すのは市の責務であり、現状は計算したらこうなった、というだけで削減の意図が感じられません。市当局として検討が不可能であれば、基本設計の設計者選定時にアイデアを募ってください。自動計算による面積で予算審議出来るほど、市財政が潤沢とは思えません。</p>	<p>設計者選定について 設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定であり、その中で庁舎規模の圧縮やコスト削減等に関する提案なども求めていくこととしています。</p>	C

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(9) 第5章3. 「新庁舎の配置計画」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
54	<p>新庁舎の建設位置について 現庁舎敷地、文化会館駐車場、うずしおふれあい公園共、液状化、津波、吉野川の洪水により大災害の際には本庁舎に防災本部を開設できても、使用できるまでには数日を要すると思われる普通の災害ではどこに建てても同じと思う。それよりも、市外の方から多く聞かれる不満は、鳴門駅前には何もない、中心市街地(商店街)がどこなのかははっきりしないということです。</p> <p>撫養町の道路の多くは三叉路の交差点が多く、幹線道路は踏切を超えないと移動できない不便さがあります。</p> <p>新庁舎を創るに当たり、新庁舎を中心に鳴門駅前(西側)を再開発して、観光鳴門の顔を作ってもらいたい。</p> <p>現庁舎敷地の場合は増田建築を残し共済会館の南側の駐車場あたりを希望します。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D
55	<p>建設地について 市役所に勤めていた人間として、かつて消防庁舎が建設された後に未曾有の東北大震災が置きその被害の様子を見た時、市長はじめ多くの職員も市民も、現在地に消防庁舎を建てたことが適切であったか、もし先に震災が起きていたら現地に再建設はしなかったらと話をしていたことを記憶しています。建ててしまったものは仕方がないので、もし鳴門市が被災した時には消防車や救急車が一番に高台に移動させるという対応策も記憶しています。</p> <p>しかし、今回の新庁舎建設は当時と違います。想定外の災害が毎年のように起こっている中なぜ同じ場所に庁舎建設を考えるのでしょうか？民間の施設とは違うはず。鳴門市の市民の命を守ることと、被災後の鳴門市の復興のために市役所が機能しなければなりません。少しでも被災を免れるような場所に建設を考えるべきではないでしょうか？津波の想定高、塩田埋め立て地に近いという液状化等の心配、このような現地の状況を知った上でも現地に建設しようとするに理解ができず計画の再検討を要望します。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
56	<p>まちづくり 徳島市から鳴門市に移住して12年になります。外から見た時の鳴門市の印象は、中心がどこか分からない！でした。今では鳴門の地理にも明るくなりましたが、例えばサッカーの応援で鳴門駅に降り立った人達は、鳴門市の街の骨格が分かりにくいと思います。(駅と商店街が少し離れている等)</p> <p>市庁舎の建て替えは50～60年に一度の大事業だと思います。同時に大道銀天街を含む近隣の商店街も建物の更新時期の只中です。事実、銀天街からの更新時期を迎えた、徳島銀行、徳島信用金庫が更新のため他に移っていきました。</p> <p>新潟県には、周辺の商店街や住民を結びつける新たな交流の拠点として整備された新市庁舎があります。新発田市 新市庁舎「ヨリネスしばた」</p> <p>鳴門市においても、市庁舎の建設を起爆剤に中心市街地の活性化を図ることは難しいでしょうか。元々の鳴門市庁舎は現在の阿波銀行の場所にあり、商店街と密接に関係していました。再度、商店街の場所に戻り一体的に開発することで、歴史的なストーリーを語れ、仮設庁舎は不要となり、現在の市民会館を残すことができ、市庁舎は新たな用途を与え改修することで市民の憩いの場となると共に、モダニズム建築の遺産として将来に残すことが出来ます。そして基本方針にある「市民がつどい、親しまれる庁舎」となることができると思います。</p> <p>計画案によると課題は、民有地ということで用地買収等に掛かる時間が無いということですが、これだけの大事業にも関わらず、周辺商店街や商工会議所等との協議が行われていないと見受けられます。(ワークショップが行われていますが参加者の素性が分からない。)本計画は市庁舎の老朽化だけが問題ではなく、鳴門のまちを将来どのようにしていくかを定めるターニングポイントだと思いますので、もっと多様な関係者と協議(ワークショップ)し、本計画に盛り込んで頂きたいと思います。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D
57	<p>新市庁舎の建設場所について 鳴門市新市庁舎建設計画(案)では検討されなかった場所、新たな土地について提案します。それは現在の阿波銀行鳴門市店のある土地です。鳴門市役所は元あった場所に帰ることになります。この場所が優れた土地であることは、明治、大正、昭和の歴史からも明らかです。また平成から新しい元号に代わってからも、ここに鳴門市役所があることにより鳴門が暮らしやすい街であり続けることは間違いありません。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
58	<p>防災機能について 近く訪れる南海・東南海地震に備え、新しい市庁舎はその対策が施された施設になると思われます。しかしながら、現在の市庁舎の建つ場所は津波による浸水被害が予想され、建物を高く造ったとしても、周辺道路が液状化により使えなくなると陸の孤島となりませんか？このことは隣の消防署にも言えることですが、市民としては不安です。全ての機能を現市庁舎場所に集約せずに、防災機能(消防署も)のみを高台に計画する方が良いのでは無いでしょうか。分散することによるコスト増が計画案の中で触れられていましたが、リスクを分散するためのコストも必要ではないでしょうか。防災の観点から、現市庁舎場所に1棟で建設する明確な理由を示して下さい。</p>	<p>これまでも庁舎施設の分散による不便さが市に対し指摘されてきました。市としましては、計画案どおり、利便性や業務効率の向上、維持管理コストの縮減に向けた庁舎施設の集約を進めます。 そのうえで、新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、緊急輸送道路に接することなどを評価した防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D
59	<p>現庁舎敷地でなければならない明確な理由の説明を要望 現庁舎敷地は津波浸水想定区域内にあり、津波被害や周辺道路の液状化被害など、新市庁舎が災害対策や救援活動の指揮を担うにあたり、防災拠点施設としての十分な機能を発揮することが難しいのでは、と複数の市民から不安の声が上がっており、建物自体は最新の耐震対策・浸水対策を施せば何ら問題ないが、場所については、「高台に建設すべき」、「分割して一部を高台に建設すべき」などの意見が挙がっています。また、市民会館の機能がなくなることをデメリットとして、現庁舎敷地への建設に反対する声もあります。 加えて、津波浸水区域外への移転では、緊急防災・減災事業債を活用することで70%もの補助金を受けることが出来ます。(対して現在活用するとされている市町村役場機能緊急保全事業は、20.25%。) このように、津波被害時の被害と有利な補助金を顧みずに現庁舎敷地で建設を行うのであれば、これらのデメリットを差し置いても獲得すべきメリットが何なのかを具体的に示すべきです。私は、中心市街地の再生に庁舎建設という投資を最大限活用していく、ということが唯一の理由だと考えますが、そうすると、同じ中心市街地に位置する文化会館駐車場敷地や、まとめやすい他の民間用地も候補地に挙がってくると思います。民間用地は、買収面積にもよりますが、基本計画案にある解体費4億円程度の費用で十分庁舎建設地に使える面積が購入可能と考えます。 なお、アンケートで77%の市民が現本庁舎敷地を求めた、との理由は、文化会館駐車場敷地、旧衛生センター敷地、うずしおふれあい公園敷地の3つの候補地を「市が所有する他の土地」と匿名化した、まやかしのアンケートであるため、理由として受け付けられない旨、申し添えます。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から比較検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の委員を経て、現本庁舎敷地を選定したものです。 なお、ご提案いただいた津波浸水区域外への移転事業に対する地方債措置(緊急防災・減災事業債)については、平成32年度中に完了したものを対象とした制度です。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
60	<p>防災拠点 資料編-8において、市民アンケート【問10】新庁舎建設にあたり重要視することとして、1位が「災害時に防災拠点であること」とありますが、①現庁舎敷地が②文化会館駐車場及び④うずしおふれあい公園敷地より高得点である根拠を示してください。</p> <p>また、③旧衛生センター敷地の利便性が0点ですが、国道に面した敷地で北灘や大麻からの交通の便は良く、駐車場を240台確保するほど公共交通よりも自家用車を重視している本計画案において配点が低いことは矛盾を孕んでいませんか？採点根拠を示してください。</p> <p>さらに、ここでいう経済性とはアンケートの内容から推測すると、主に建設コストのことを指していると思われませんが、全て市有地であるのに③旧衛生センター敷地の点数が低くなる理由を示してください。</p>	<p>現庁舎敷地が、文化会館駐車場、うずしおふれあい公園敷地よりも「防災拠点・安全性」において高い評価となっているのは、「災害発生時・後におけるアクセス性」において、災害時における緊急輸送道路の早期啓開可能性を評価したものです。</p> <p>旧衛生センター敷地の利便性については、自家用車を持たない方など、いわゆる交通弱者といわれる方々にとっての利便性や、他の官公署等からの距離などを評価したものです。</p> <p>旧衛生センター敷地の経済性については、職員駐車場を含めた際の必要面積の不足や公共交通体系の見直しによる費用の増大を評価したものです。</p>	D
61	<p>新市庁舎によるまちづくり 新市庁舎の建設をきっかけに、鳴門の中心市街地の再活性化を図れないでしょうか。 何十年かに一度の市(市民)にとっての大事業を早計に進め過ぎではないでしょうか。 計画案を拝読すると敷地の選定においても、建物の計画においても周辺のまちづくりとの関連性が見えてきません。 新潟県新発田市には、周辺の商店街や住民を結びつける新たな交流の拠点として整備された新市庁舎があります。新発田市 新市庁舎「ヨリネスしばた」 こういった事例を参考に、市職員の快適性だけのことを考えず、市民に愛される市民のための施設を広い視野で計画して下さい。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、都市計画マスタープランとの整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D
62	<p>未曾有の大規模災害時に基地となる新庁舎建設の場所を決めるに当たり地質学的に調査検討されたか知りたいです。 現庁舎は塩田の埋め立地です。私は幼い頃、大道の旧市庁舎を背に見渡す限りの砂地に機関車が走っている現庁舎方面を見ていました。非常に危険な位置に現庁舎は建っていると思います。 しかし、現庁舎の位置に再び新庁舎を建設すること。建設地決定理由が経費の比較のみで語られ、そこに100年を見越したまちづくりの長期ビジョンが見えません。民意ではなく市として具体的な長期的まちづくりビジョンを説明して欲しいです。</p>	<p>徳島県が公表した液状化危険度分布によると、市内平野部のほとんどにおいて液状化の危険度が「極めて高い」という評価がされています。</p> <p>そうした評価も踏まえた上で、新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p> <p>なお、地質調査については、隣接する消防庁舎やうずしお会館等の地質調査結果を踏まえ、今後詳細な地質調査を実施します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
63	<p>現所在地での市庁舎建て替えの妥当性について</p> <p>(1) 地震や津波の被害を考慮すれば影響が懸念される場所に本庁舎の機能は必要ないと考えます。 新庁舎建設予定地の比較について、利便性や経済性を現所在地での建て替えの際の有利な点として挙げておられますが、現在使用している場所なので有利なのは 当たり前であり、例えば環境センター跡地の災害時の優位性にもっと重きを置いた対応策(例えば、徳島バスやコミュニティバスの運行経路の変更等)が検討がなされても良いのではないかと。</p> <p>(2) 現所在地は、窓口業務と鳴門市民が集える施設(市民会館)、津波避難所等があれば良い。 市の中心に市庁舎が設置されるべきとのことであれば、なぜ市の東寄りの場所に建設するのか。環境センター跡地であれば、距離的に中心に近い。道の駅を大津町に新設との事ならその場所に併設でも良いくらいです(大規模な駐車場が休日に有効利用できる)。 少子高齢化の現状から、今後も市町村合併の必要性は高く近隣自治体との車での交通利便性の 良い場所で鳴門市のシンボリック存在であってほしい。 私は元徳島市民ですが、鳴門市の印象は非常に薄く中心部がどこにあるのか分からないとゆうのが率直な認識でした。 鳴門市は公共施設や民間の店舗を含め分散されており、利便性が低くことから市外から観光地として以外は わざわざ来る必要のない地域になっていることから徳島県のメイン道路(空港へのアクセス道路)から見える位置に庁舎を建設してほしい。(鳴門市ここにありとアピールする場所が必要)</p> <p>(3) 環境センター跡地は葬祭場に隣接していることは問題点にはなりませんか。</p> <p>(4) 新庁舎建設には事業費として60億円超かかりますが、鳴門市の生産年齢人口が約4万人が今後2万人程度に半減し、一人当たりの負担としては15万円であるものが30万円になるとゆうことではないですか。補助金10億円程度が出るとの事ですがそれでも12.5万円が25万円になる。</p> <p>(5) 80年使用する前提でライフサイクルコスト等計算しておられますが、現市庁舎は60年経過時点で老朽化やIT対応等で施設として陳腐化していることから、もっと短期間で建て替えや改修を前提とした計画をたてるべきではありませんか。</p>	<p>(1)~(3)について 現庁舎敷地での新庁舎建設については、高台に位置する旧衛生センター敷地等の他候補地と比較し、選定を行ったものですが、比較にあたっては、「防災拠点・安全性」を最も重視し、他要素よりも配点が高くなるように傾斜配分を行いました。 その上で、有識者で構成する検討委員会において、防災拠点・安全性や利便性、経済性、都市計画マスタープラン等との整合性等、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p> <p>(4)について 新庁舎建設事業に係る事業費の市民負担については、事業実施において有利な地方債制度や補助金等を十分に活用することで、市民負担の抑制、平準化に努めます。</p> <p>(5)について 公共施設のライフサイクルについては、平成25年度に国が作成したインフラ長寿命化基本計画や、市の公共施設等総合管理計画に基づき、予防保全型の維持補修に努めることで、できる限りの長寿命化を推進することとしています。(80年は、一般的なコンクリート建築物の耐用年数上限とされています。)</p>	<p>D</p> <p>C</p> <p>C</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
64	<p>《建設場所などについて》 建設場所の優先順位は、 1 将来のコンパクトシティ実現に向けて、JR鳴門駅西側地区(商店街含む)</p>	<p>新庁舎の建設場所について 新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p>	D
	<p>2 現庁舎南側駐車場 3 素案の市民会館の場所 《建設規模・多棟案》 将来の人口減少をふまえて、やたらと大きくしない。また、水道会館や教育委員会は現状のままの利用をすること。現庁舎も耐震改修後、議会などは現状の位置で十分と考えます。したがって、最大限に考えても、素案で国土交通省の規定による面積を8000～9000㎡としています。それで十分だと考えます。現状のいくつかの建物は、国が推奨するように長寿命化をはかり、すくなくとも80年利用を考えるべきです。現庁舎が80年を迎えるころには、新庁舎の職員数も減少し、そのときに1棟に集約できると考えます。</p>	<p>新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B
	<p>《事業手法について》 国の交付金措置にしばられることなく、国や県が勧めるPFIやPPPを検討すべきです。このままいけば、本市のここ数年の事業費は100億円を超えるものが想定され、財政破たん団体におちいり、国の管理下になることが予想されます。</p>	<p>事業手法について PFIの検討については、資料編に掲載しています。 今後の消費税率の変更や、人件費や建築資材費が上昇傾向となっていることなど社会情勢の影響を受けますが、導入予定の機能及び設備の費用対効果などを十分精査し、将来的に多額の財政負担とならないよう事業費の削減に努めます。</p>	B
	<p>《増田建築について》 現庁舎の縮小保存、民間活用も含めて、あらゆる方策を検討すべきです。また、その時間は、あります！ 《その他》 中心市街地活性化計画や、都市再生法にもとづく都市計画など、早急に鳴門市の将来像を計画、策定すべきです。</p>	<p>現本庁舎の活用について 現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
	<p>その他について 都市計画マスタープランについては今後適切に見直しを行います。</p>	C	

No.	意見等の概要	市の考え	反映
65	<p>鳴門市新庁舎建築基本計画についての意見 新庁舎の場所は、旧衛生センター跡地が最も優れていると思います。なぜなら、既にみなさんは分かっていると思いますが、防災計画に基づく「高台に建築すべし」だと考えます。消防署の建て替えの時にこの意見が出たのですが、結果的に低い場所に建てしまい地元の消防団員も「もしも大災害がおきたらどうなるんだろう」と不安を漏らしています。</p> <p>また現市役所の位置は大麻が鳴門に後から編入したこともあり、中心からかなり外れて東部によっています。災害がおきた時に支援活動する事を考えると到着時間に差があるのは不公平です。旧衛生センター跡地はインターからすぐなので動きやすいし、もしもの時に他の地域から支援物資が届きやすいという利点があります。</p> <p>鳴門市は市民の数から割り出すと他県より市職員数が多いのではと以前から思っていました。人口はますます減りつつあるのが現状です。コンピューターをはじめとする機械の手助けで、将来はもっと少ない職員数になる事でしょう。大きな新庁舎はいりません。この年齢ですから案が出てから完成した頃には、既にその計画が状況に合わなくなっているケースも多々あったのを見てきました。せっかく良いものを建てても小学校などはあちこち廃校になっています。</p> <p>市の予算であっても国の補助金であっても元々は我々の税金です。小さな庁舎で足りないスペースは旧市役所も分庁舎もこれまで通り使用して、数十年後本当に老朽化したら解体すれば良い事です。同様に市民会館もそのまま使用してください。お願いします。</p> <p>鳴門市のホームページで基本計画案を拝見しました。素晴らしいことが書かれています。新庁舎、人口減少のこと、盛り沢山の良いことが盛り込まれています。今までの行政あり方は数十年後の将来の事をよく考えず、その時の状況で動いていたのではないかと反省されます。今が我々の子供や孫たちが幸せに暮らせる長期的な市政を考える良い機会ではないかと思しますので、知恵を出し合い計画を練り直していただけるよう、よろしくをお願いします。</p>	<p>新庁舎の建設場所について 新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p> <p>新庁舎の規模について 基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	<p>D</p> <p>B</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
66	<p>基本計画の位置づけ・都市計画・建設場所などについて 上位計画との整合性を考察しているが、本市の年度予算の1/3近くを事業予算としている新庁舎の建設計画において、将来の都市像や経済的波及効果などの側面については、なんら検討されていない。約50年前に区画整理事業で形成された本市の中心市街地は、現庁舎と同様に経年的な劣化が顕著であり、また、高度成長期に都市計画された本市の都市構造は、明らかにメタボリズム的な都市の拡張戦略の中、現在の都市構造が出来上がっています。しかしながら、現状の社会情勢は、コンパクトシティーに代表されるヒューマンスケールな都市への転換が不可欠であり、これを主眼に捉えた都市計画の再考が急務であります。したがって、現庁舎の建設場所においても、区画整理前にあった場所(現在の阿波銀行鳴門支店の位置)を含む商店街やJR鳴門駅西側地区など、コンパクトシティーの中核的エリアに建設すべきものと考えますので、基本計画を再考願います。</p> <p>付け加えて、中心市街地で店舗や会社を営む者として、これ以上都市が無計画・無作為のままスプロール現象が進むのであれば、営業拠点の移転や転居をせざるを得ない状況となっています。新庁舎建設を計画している今こそ、鳴門市の、特に中心市街地の都市計画を再計画し、これから50年先の鳴門市全体の未来像への出発点として、本計画を位置づけ、先に提案した地区への庁舎建設を進言いたします。</p> <p>●事業手法について 国の交付金措置に固執するのではなく、国や県が勧めるPFIやPPPを再考すべきです。中心市街地の商店街組合員やJR鳴門駅西側地区の土地所有者や企業家は、公民一体となった本計画の推進に賛成し、協力を惜しみません。大道商店街組合などは、組合をあげて再開発方式を含めた、市と協働での市庁舎移転について話し合いを行い、市に対して提案や陳情を行っています。本市の財政状況を考えるに、本計画の事業費は、起債や交付金(これも、国全体でいえば借金です)にたよるのではなく、民間活力の導入を検討すべきと考えます。</p> <p>●その他 市庁舎が素案のまま進められることを想定した場合、住民サービスの窓口機能や、市民会館の文化活動機能の代替拠点施設を、JR鳴門駅西側地区や大道商店街を含む地区に誘致したいと考えています。基本計画の課題や今後の検討事項として付加されることを提案いたします。また、これからの鳴門市の未来像を計画していくうえで、JR鳴門駅西側地区や大道商店街を含む地区に松山市や横浜市などで行っている産学・官民一体のアーバンデザインセンター(まちづくり協議会)を設立し、協働で都市計画を進めていくことを提案いたします(すでに私たちは、鳴門市の未来を考える市民会を設立し、活動しています。)</p>	<p>新庁舎の建設場所について 新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p> <p>まちづくりの観点について コンパクトな都市づくりを進めるとした市の将来都市構造、行政サービス拠点の位置づけ等については、市の都市計画マスタープランに定めており、新庁舎建設基本計画では、当該計画との整合性にも配慮を行っています。</p> <p>事業手法について PFIの検討については、資料編に掲載しています。 今後の消費税率の変更や、人件費や建築資材費が上昇傾向となっていることなど社会情勢の影響を受けますが、導入予定の機能及び設備の費用対効果などを十分精査し、将来的に多額の財政負担とならないよう事業費の削減に努めます。</p> <p>その他について これまでも庁舎施設の分散による不便さが市に対し指摘されてきました。市としては、計画案どおり、利便性や業務効率の向上、維持管理コストの縮減に向けた庁舎施設の集約を進めます。 また、市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。</p>	<p>D</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>C</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
67	<p>【自己用地4箇所の評価点数化の蓋然性】 資料編8を見ると、4つの敷地が採点されており、完全に客観評価にすることは難しいことは理解しますが、しかし市民が納得感を持てる採点方法が取られるべきですので、下記の3点についても回答をお願いします。</p> <p>A) 防災拠点・安全性の観点から、①現庁舎敷地が、②文化会館駐車場、④うずしおふれあい公園敷地より高得点の理由を教えてください。液状化すると、緊急輸送道路に直結していようと、庁舎自体が使用不可になるため道路は意味をなしません。高得点を与えるに値しないのではないのでしょうか？現状の採点方法で十分だとする論拠を教えてください。</p> <p>B) 経済性は、かかる費用のみならず、その敷地に新庁舎を立てることによる「経済波及効果」と、観光資源になり得る資産を解体することによる「機会損失」も考慮に入れるべきだと思いますので、再度検証して下さい。</p> <p>C) 整合性は、市のめざすべき将来都市像や基本目標を示し、今後10年のまちづくりの方向性を示す「第六次鳴門市総合計画」との整合性も評価すべきではないでしょうか。そこには、「鳴門の魅力づくり」「観光ブランドづくり」を考えるとという指針があります。また、「鳴門市総合戦略」との整合性も図るべきですが、そこには、「鳴門の良いものを進化、隠れた魅力を発掘、次の世代に良いものを引き継ぐ、良いものは少しの経費をかけるだけで効果の大きい良いものになる可能性」との指針があります。①現庁舎敷地では、これら2つの大きな方針に反しているため、比較の小項目を何に設定するかで、評価は大きく変わってくるのではないのでしょうか。現状の小項目で十分とする論拠を教えてください。</p>	<p>A)について 「災害発生時・後におけるアクセス性」の検討にあたっては、十分な液状化対策を講じることを前提としており、その上で、災害時における緊急輸送道路の早期啓開可能性を評価したものです。</p> <p>B、C)について 現本庁舎や共済会館、市民会館の活用に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	<p>D</p> <p>D</p>

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(10) 第5章6. 「構造計画」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
68	<p>新市庁舎の構造について 建物の構造ですが、鉄筋コンクリート造を考慮されるようですが、市民に親しまれる庁舎とするには、木造も選択肢の中に入れてほうが良いと思います。</p> <p>今現在、山口県長門市では木造・鉄筋コンクリート混構造+免震構造地上5階建て、約7,000㎡の工事が進んでいます。</p> <p>観光鳴門の庁舎としては、全国的に注目をひく大規模木造公共建築にすることは増田建築とともに観光資源にもなるのではないのでしょうか？ 県産材の活用も意義のあることと思います。</p>	<p>新庁舎の構造については、基本設計段階において、設計条件や要求性能に応じた検討を行い、構造種別を決定することとしています。</p> <p>現時点では、内装の木質化等について検討します。</p>	B
69	<p>新庁舎は、1階SRC(津波対策)、2階～5階(木造)県産木材使用として欲しい。少し違うが構造は、山口県の長門市の新庁舎等を参考にしてください。</p> <p>建設費の費用は、計画時点で上限を決定する。国立競技場の様にならない様に建設費用は、市役所費用検討時期よりかなり上がっていると思われる為。</p> <p>設計は、坂茂氏(バンシゲル)、隈研吾氏にしてほしい。木造ラーメン構造の実績、完成すれば、広告効果が絶大な為。</p> <p>鳴門市は観光資源が少なく、国策としてインバウンドの収益を増やす方向に進んでいるなら鳴門市に19棟ある増田建築を生かして鳴門市観光の一番観光所に現鳴門市役所を位置づけて鳴門観光の出発点にできないか？</p> <p>弘前市の前川國男氏のようにマップ作りをする等。</p> <p>現況の本庁舎のみで充分と思えるが、1階は、鳴門物産館+貸スペース 2階は鳴門市の歴史資料館、3階は市民開放スペース等に使用等 増田建築の構造美を生かした改修をしてほしい。</p> <p>現鳴門市庁舎を残しても、駐車台数は充分足りるし、避難場所としても機能出来ると思います。</p>	<p>新庁舎の構造について 津波対策や県産材の利用などについては、基本設計の中で検討します。</p> <p>事業費の抑制について 今後の消費税率の変更や、人件費や建築資材費が上昇傾向となっていることなど社会情勢の影響を受けますが、導入予定の機能及び設備の費用対効果などを十分精査し、将来的に多額の財政負担とならないよう事業費の削減に努めます。</p> <p>設計者選定について 設計者選定にあたっては、特定の設計者を指名するのではなく、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。</p> <p>現本庁舎等の活用について 現本庁舎や共済会館、市民会館の活用に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	B B B D

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A：意見等を計画等に反映するもの B：意見等が既に反映されているもの
C：意見等を今後の参考とするもの D：意見等を反映する見込みのないもの

(11) 第6章3. 「概算事業費及び財源」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
70	<p>事業費について 事業費の根拠である他市の工事費を各市町のホームページで確認すると、計画案とは異なる数字が見られました。その点の確認をお願いしたいと思います。</p> <p>また広報誌などで市の予算を家計に見立てた説明がよくされていますので、一般会計予算と建設工事費の比較を計画案にあがっている他市と共にやってみました。他市平均が約15%に対して鳴門市の計画案は22.3%となります。この事も含め事業費が適正であるのかの十分な説明もお聞きしたいと思います。</p> <p>今回の確認に各市町の基本計画などに目を通したのですが、鳴門市計画案は事業規模と事業費のそれぞれで根拠となる対象市町が異なり、またサンプルとなるデータのばらつきが大きい事などから、延床面積12,000㎡工事単価450千円/㎡となるようなデータを集めたと見えなくもありません。そのような事はないと明瞭にわかる説明にも期待します。</p>	<p>概算事業費に関する他市事例については、近年整備された8,000～15,000㎡の自治体庁舎(免震構造を採用)を対象に、登録されている事業費データを引用しています。庁舎規模の算定と異なる団体を対象としたのは、庁舎規模や免震構造の採用など、概算事業費に大きく影響する要件に関し、同様の要件を具備したものを選定したためです。</p>	D
		<p>事業費については、直近の他市事例などを参考として、あくまで基本計画時点において概算を行ったものです。</p> <p>今後の消費税率の変更や、人件費や建築資材費が上昇傾向となっていることなど社会情勢の影響を受けますが、導入予定の機能及び設備の費用対効果などを十分精査し、将来的に多額の財政負担とならないよう事業費の削減に努めます。</p>	B
71	<p>2019年度に基本計画の再検討実施を要望</p> <p>2018年3月の基本計画検討開始時から、下記2点の状況変化が起きている。</p> <p>① 市町村役場機能緊急保全事業の時限立法延長の可能性 複数の国会議員へ地方自治体や市民から要望が挙げられていると聞いていますので、国会で可決される可能性が極めて高くなっています。</p> <p>② 市民の主体的な活動 パブリックコメント募集開始と機を一にして「未来の鳴門を考える市民会」が発足し、市民が主体的に意見交換をし、一人一人が意見を述べ、自分事として考え始めています。議員主催の集会でも市民100人ほどから意見が集まっていると伺っています。私は、これらの動きは、行政執行機関である市がお願いして協力してもらったアンケートへの回答、市民ワークショップへの参加とは性格が異なるものと理解しています。市のお墨付きを得た「公式」でない会合へ、休日の時間を使って主体的に参加されていることをその証左と見做すことが出来ます。意見交換において、現在の基本計画案のままでは良くないなあ、という意見が幾つか聞こえて来ていますし、市民会館・現本庁舎への幼少時代、職員時代の思い出をお聞きすることも出来ました。</p>	<p>財源について 財源については、不確実な期待をせず、その制度改正に合わせて、できる限り有利な財源を確保できるよう、その都度検討します。</p> <p>市では、今後も市民の皆様のご意見を伺いつつ、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、市民にとってわかりやすく、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	C
		<p>基本計画の再検討について 基本計画の再検討は行いません。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
71	<p>②より、現基本計画案のまま速やかに基本設計業者選定へ進むと、その後の市民の合意形成に多くの費用と時間がかかることが予想されます。基本設計完了時に再度パブリックコメントを行うと、そもそも基本設計の与条件に対して意見が出るものが予想されます。また、市民の代弁者でもある議会において反対意思を持つ議員が過半数となれば、デザインビルド予算案が否決される恐れがあります。一旦このような事態となれば、地元メディア、さらには全国メディアに取り上げられる可能性が非常に高く、世論がさらに反対方向に振れる恐れがあります。こうなれば、スケジュールが延びるところか、基本設計のやり直しとなり、最初の基本設計に要する費用数千万円が無駄なることが予想されます。実際にこのような事態に陥った事例として、記憶に新しい新国立競技場と三重県伊賀市庁舎があります。</p> <p>よって、2019年度に基本計画の再検討実施を要望します。</p> <p>基本計画に二度、約1,000万円を支払うのか、基本設計に二度、数千万円を支払うのか、どちらが鳴門市の財政を圧迫しないかは明らかです。加えて、市民感情をなだめる意味でも前者を選択する政治判断が賢明と考えます。議員と行政執行機関の間に本案で不信感が募ると、他事案の予算案・条例案などが議会で否決されるなど市政運営に混乱招き、福祉や子育てなど市民生活に直結する、速やかに執行すべき他の施策執行に悪影響を及ぼす恐れが出てきます。</p> <p>また、二度基本計画を作成することは、決して無駄な費用ではないと考えます。行政執行機関が現在の基本計画において具体的な計画案を示したことが、市民の主体的な意見、ひいては市政への健全な参画を誘発したと言えますので、たとえば今後数年の行政執行機関と市民との関係の潤滑油の役割を果たしたと考えれば、1年の時間と約1,000万円の費用の投資対効果は極めて高い、と私は考えています。</p> <p>基本計画再検討において、静岡県静岡市新清水庁舎基本計画のように、基本計画に並行して民間ヒアリングを行うことで計画の熟度が上がり、パブコメで反対意見が出にくくなるなど、更なる効率的な検討の進め方も考えられます。</p> <p>今後の検討委員会の委員の人選については、</p> <p>ア) 過去検討における議論の継続性を重視するために、現委員を重任する</p> <p>イ) 市長や幹部の意向に沿うように、入れ替える</p> <p>の2種類が考えられます。三重県伊賀市庁舎では、市長交代に伴い、基本計画その2では、現庁舎保存意向に共感する学識委員を選んでいるように推察されます。(加えて、委員に市民を加えており、その人選から十分に市民の意向を踏まえた素案作成をしようという市当局の方針も感じることが出来ました。)</p>		

No.	意見等の概要	市の考え	反映
71	<p>いずれにせよ、現基本計画と同様、現本庁舎の保存・解体など、計画の検討はこれまでの経験や知識による直観に基づく何らかの仮説としての方針を持った上で進めざるを得ず、完全な客観性・論理性によってのみ設定することが困難なのは理解する所であります。この仮説をどのように設定するかは、正に首長の政治判断によってなされて然るべきです。しかし、これがあまりにも市民の意向からかけ離れていたり、特定の職員や企業への利益誘導を目論む仮説設定と疑われるようであれば、検討内容以前の事柄についての反対意見が多数パブコメにて集まったり、最悪の事態としては首長のリコールに発展したりすることが予想されます。</p> <p>結論ありきに見える杜撰な検討経緯を示している現在の基本計画をもとに基本設計・実施設計・解体工事・建設工事へと進むと、解体工事、土木工事、建築工事、設備工事などの業者との癒着が疑われかねません。この場合には、上記とは正反対に、今後数年の行政執行機関と市民との関係悪化を引き起こすと想定され、その修復には約1年、約1,000万円以上のコストを要するのでは、と思います。</p> <p>①より、市町村役場機能緊急保全事業の期間は数年延長される可能性が高いですし、他の多くの自治体では庁舎の基本構想・基本計画に数年の時間をかけるのは一般的です。行政執行機関・議会・市民が良好な関係を保ち、2019年度に基本計画の再検討を行い、基本計画を完成させられると、計2年で基本設計に進むことができ、他自治体に比べ非常に早く、鳴門市政の水準の高さ、行政執行機関・議会・市民間のコミュニケーション能力の高さを示すことになると思います。</p> <p>他自治体の事例から、地方都市での庁舎建設は、法定再開発事業と並び、首長交代や幹部の更迭を引き起こす政治マターに発展しやすく、他施策の滞りない執行への支障など市政全体に影響を及ぼすこともあると感じています。取り返しのつかないフェーズに突入する前に、ぜひ慎重かつ賢明なご判断をお願いいたします。</p>		
72	<p>解体費の変動への質疑 第1回検討会資料では、本庁舎(4,312㎡)の解体費は1.1億円でした。基本計画案では、4棟9,097㎡(=本庁舎4,312㎡+共済会館645㎡+保険棟1,769㎡+市民会館2,084㎡+旧鳴門簡裁287㎡)と床面積約2倍に対し、なぜ4.0~4.1億円と約4倍の解体費に膨れているのでしょうか。</p>	<p>解体工事費については、以前は、「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果(平成25年12月 総務省)」を参考に単価設定を行っていましたが、近年の解体工事の実績単価を参考に再算定を行うとともに、既存外構の撤去費についても算定を行ったものです。</p>	B

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(12) 第7章3. 「現本庁舎の存廃について」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え方	反映
73	<p>現庁舎の活用方法のビジョンが見出せてないとのことでしたので、意見を述べさせていただきます。増田建築を活かしてもらいたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三好市池田町にある廃校を活かしたカフェ&ホテル「ハレとケ」のように、今の市役所の建物をそのまま使ってカフェを作る。(おへんろなどに周っている外国人向けの宿泊施設を作る) ・産直市、道の駅を作る(いつでも新鮮な野菜などが買える)(青空市をもっと大規模にして、作家などを集めたハンドメイドのイベント、とくしまルシェのようなイベントを定期的に開く) ・お年寄り、子供が共にふれあえる憩いの場をつくる ・鳴門の歴史、産業を紹介しているコーナー <p>増田建築の雰囲気をかいてカフェなどにすれば、インスタ映えをねらっている若者が集まるようになると思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえ、たうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
74	<p>市役所と市民会館の新たな活用について</p> <p>大阪万博が決定し、今後多くの観光客が関西圏にやってきます。鳴門市は四国の玄関口として往来が増えると考えられます。また渦潮を世界遺産に登録しようとがんばっています。鳴門の観光地は点在しているので、それらを統括する観光センターは市内中心部でなければ意味がありません。</p> <p>現在の市役所と市民会館はその理想的な位置にありますのでそのまま活用すべきでしょう。市役所内部は細かく区切られていますが、壁を取り払えば建物本来の使い勝手の良い大空間となります。解体するにも費用がかかるので最低限の耐震工事をして、一階を4KやVRなどをふるに活用した観光拠点や物産、歴史館とし、2階は建物本来の骨格を生かした宿泊施設や市民の多目的スペースとすることを提案します。</p> <p>市民会館での12月のクリスマスマーケットに参加したのですが、ランタンの光に包まれた幻想的な光景に参加者は魅入られていました。仕様の可能性は無限にあります。文化祭や催し物会場としての貴重な大空間を無くさないでください。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえ、たうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
75	<p>学術的にも価値ある建築を壊すという方向性に疑問を感じます。鳴門市・徳島県の建築レベルの底上げの意味でも残し、利用する方法をもう少し考えないとダメだと思う。</p> <p>壊すのは今でもいつでも壊せる。</p> <p>もう一度同じか、今以上の価値のある建築を建てる事ができるのなら、壊せば良い。だが無理だと思う。“刻んだ歴史を再び”は無理だろう。</p> <p>壊すなら壊せば良い。そして後に後悔すれば良い。</p> <p>僕はそんな後悔はしたくない。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえ、たうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
76	<p>上位計画との整合性 計画案の冒頭に、「2. 関連計画との整合性」とあり、この計画案の大前提となっていますが、その中の「第六次鳴門市総合計画 後期基本計画」には“文化財は長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な市民の財産であり、これらを保存整備し、次の世代に確実に継承していくことが我々の務めです。また、人間性の喪失や倫理観の欠如など、人間としてのあり方が問われている今日、文化財を保護・保存し、活用することが心のゆとりや地域の再認識につながる重要な役割を果たすものです。”との一文があります。ここでいう文化財にドコモモジャパン選定は含まれませんが、国際的な学術機関が鳴門市に残る増田建築のうち5棟を選定していることは十分文化的な価値があると考えられます。</p> <p>また、「鳴門市総合戦略」には、“鳴門の良いものを進化、隠れた魅力を発掘、次の世代に良いものを引き継ぐ、良いものは少しの経費をかけるだけで効果の大きい良いものになる可能性”との指針があり、加えて「鳴門市観光振興計画」には、鳴門市観光の課題として“観光資源の再発見（鳴門の観光資源を見つめ直し、魅力をいかに発掘、評価するか）”とあります。</p> <p>これだけ、鳴門市が打ち出している計画があり、その中で謳われていることと、今回の計画案での市民会館や市庁舎の解体が整合性を持っているとは考えにくいのですが、どのように解釈すればよいか考えを示して下さい。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
77	<p>【既存庁舎を交流人口増加ツールとして活用する検討】</p> <p>仮に市が主張するとおり、「市民は近代建築としての評価に関心がない」ことが正しいと仮定した場合でさえ、現本庁舎を単純に、市の税収アップにつながる、「市民は関心がないが、市外からの交流人口を増加するツール・集金装置」であると割り切って考えることは難しいでしょうか。</p> <p>例えば、広島県尾道市では、使用しなくなった倉庫を利活用し、OMONICHI U2という施設でサイクリストのための宿泊施設や自転車屋さんを誘致しています。大半の市民はサイクリストではないので関心はないと思われそうですが（おそらくサイクリングに関心がある市民は、37%以下でしょう）、国内外から多くの観光客を呼び寄せています。なお、この事例には自治体の補助金が使われています。</p> <p>事例からも分かる通り、市民の過半が確実に関心を持ったり頻繁に利用しない施設であっても、未利用公共施設の利活用は、市民にとってのシビックプライドや税収面から市民にメリットをもたらす可能性があります。よってこれを検討しない事は、市民に対して、市の財産を活用しない機会損失を被らせる恐れがあります。従って、再度、現庁舎の利活用について、市民の声を聞いたり、民間活用意向のヒアリング調査を行って頂くことを要求します。</p> <p>近代建築の価値は、あくまでも、上記の誘客効果を強化する補助的役割に過ぎないという理解しております。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
78	<p>現市庁舎の利活用について 私は建築を学んだこともなく、専門家でもありません。そして増田友也という有名な建築家が手掛けた建築群が鳴門市に多数現存していることは、鳴門市出身でありながら今まで詳しくは知りませんでした。 今回、その増田先生が手掛けられた、現鳴門市本庁舎が解体されると聞き、筆をとった次第です。 京都に「ロームシアター京都」という場所があります。昔の建物を改修しスターバックス・コーヒーや蔦屋書店が入った居心地の良い施設です。この建物も増田先生と同時代に活躍した前川國男という建築家の設計だそうです。新旧のテイストが入り混じった空間は、新築では作れない味わい深いものになっています。現市庁舎も普段訪れた時には、あまり綺麗とは思いませんが、適切な改修を施すことで、ロームシアターのような空間に生まれ変わることが出来るのであれば、充分価値があるものだと思います。古い建物を維持するためにはコストが掛かることは想像できますが、その理屈からすれば、折角鳴門市にある沢山の財産が古くてお金が掛かるという理由だけで失われていくことになり、あまりに盲目的だと思います。どうかもう一度再考することはできないでしょうか。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
79	<p>現市庁舎と市民会館の価値 建築の素人である私でも、現在の鳴門市庁舎や市民会館が他とは違った建築であることは分かります。色々な公演等で聞くところによると、増田友也という著名な建築家が設計した建物だそうです。そして、増田友也が設計した建物が鳴門には19施設あり、そのうち5施設がドコモという国際的な組織に価値がある建物として選定されています。 計画案で解体される市庁舎や市民会館もそれに含まれています。私が思うのは、鳴門市内にこれだけの資産があることを鳴門市が上手く広報出来ていないのでは無いか？ということです。我々市民は、もしかしたら大切な宝物を良く知らされないままに鳴門市に奪われようとしていないのか疑いたくなります。市庁舎が新しくなることには、何ら反対する気持ちはありませんが、今ある施設の有効利用をもう少し考えても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
80	<p>現本庁舎の継続活用を要望します。 昨年10月千葉市中央区より移住、鳴門市民として新たな生活を始めました。縁あって撫養町岡崎にある、創業140年の味噌蔵にて働かせていただくことにまり、古き良きものをつくる重要さを感じながら修行の日々です。</p> <p>鳴門市には人の心を癒す自然や街並みが残っており、とても素敵かつ貴重なことだと思います。また、本庁舎はじめ増田氏の特徴と魅力にあふれた建物が19ヶ所もあり、それらが自然の景観を損ねることなく馴染んでいると、外から移住してきた人間として強く感じております。</p> <p>これらの建造物は、鳴門市の特色として市民の皆さんに再認識していただき、そこから鳴門市の特徴として外へのアピールをしていく可能性を十分秘めたものだと思いますし、その中心的アイコンとして本庁舎を位置づけることが可能だと考えます。</p> <p>コンクリート製の暗く古くさい建物、という市民の方の声もあることと思いますが、20年、30年後更に価値を高めるこれらの建物を、市民が中心となって守りながら共存していくことを期待し、自分も新米市民として関わられたらと思います。</p> <p>以上の理由から、現本庁舎を取り壊すことなく、新庁舎と併用しながら文化的価値と共存するために継続利用していただきたいと願います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
81	<p>新成人となりました、大学生です。 増田建築である市民会館、現庁舎、共済会館も全て解体はやめてください。少なくとも現庁舎は残し、民間活用で利活用し、鳴門の発展、活性化、賑わいを考えてもらえませんか？現在、ぱっとしない鳴門市と思っています。しっかり新庁舎を含めたまちづくりを作ってください。ただ単にお金が安いではなく、こだわったものに…。大胆にまちづくりを考えてください。</p> <p>自分を含め、若者にとって誇りのある鳴門市に！鳴門市はすごいよね！と言われる考えをぜひ入れてください。 チャンスです！チャンスをのがさないでください！ よろしく願います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
82	<p>鳴門市新庁舎建設には、反対ではないです。ですが建て替えは反対です。</p> <p>現庁舎は、増田友也氏による設計でドコモモジャパンにも選定されている建物と聞いております。折角ある世界的にも認められている建築物を、なぜ利活用できないのか不思議に感じております。</p> <p>市のHPにも載せていないように思いますがどうでしょうか？ 載っていても、探さないと解らなければ意味はないように思います。 市民に対して、広報的に問題があるように感じます。 市民にちゃんとした説明をした上で、検討してはどうかと思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
83	<p>市役所の文化価値を再検討するべきでは 徳島新聞で市役所の建て替え計画を知り、ネットで検索してみました。すると四国放送の番組をYouTubeで(鳴門に残る増田友也のモダニズム建築)を見ることができました。市役所に行くことはあっても建築についてはよく見たこともなかったので増田さんのことも詳しく知りませんでした。が、改めて観察してみると鳴門の海を表したという青い屋根とガラスを用いた開放的な光の取り入れ方がうまいと思いました。</p> <p>それからDOCOMOMOが登録した日本モダニズムの代表的建築だと新聞で読み、がぜん興味が湧きました。市役所、市民会館を含め鳴門市に19もの建築が残っているのは奇跡のようです。しかし私も含め、その価値を全く認識できていないのではないのでしょうか。まずはもっと知りたいし学びたいです。</p> <p>フランス、パリの象徴のようにになっているエッフェル塔もきたばかりの頃は作家や文化人にひどくこき下ろされ、一刻も早く解体すべきだという議論がおきたのです。鉄やコンクリートの建築物はまだ歴史が浅いため文化的な価値を認められにくいのですが、今世紀に入りコンクリートの近代建築が世界遺産に登録されるようになっていきます。</p> <p>フランスを例にあげると「コンクリートの父」と呼ばれたオーギュスト・ペレによって再建されたフランス北部の港湾都市ル・アーヴル、ル・コルビュジエの近代建築作品群などがあります。このオーギュスト・ペレを日本に紹介したのが増田さんの恩師であった森田慶一さんだったそうです。私はこれまでル・アーヴルに2度足を運び、代表作であるコンクリートの教会や再開発の現場を見ているから、増田建築にもその力強いフォルムが継承されていると思います。そして地元にもこのような文化財として登録すべき建築がある事を誇りに思います。</p> <p>行政でお荷物となって手に余るのであれば、民間に委託するなどして解体ではなく現状保存してください。鳴門の19の増田建築作品群は孫の代まで残れば間違いなく鳴門の掛け替えのない宝となります。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
84	<p>価値の判断 最近の訪日外国人の行動傾向について、日本人が行かないような場所に外国人がたむろするといった話を見聞きします。我々が価値を見いだせていない場所に、SNS等の情報を頼りに訪れる外国人が多くなります。身近な価値に気付くことはなかなか難しいことを示しています。</p> <p>今回、市が行ったアンケート結果では58%の市民は増田建築に関心がないと答えていますが、一方で、市外県外から鳴門市に移住もしくは仕事の都合で訪れた人達ほど、増田建築に関心があるように思います。(市民団体の勉強会への出席者の出身地から判断)私自身も徳島市から移り住んで12年ですが、私も含め外から見ると、鳴門市は宝の持ち腐れ状態に映ります。外からの声に耳を傾け、身近な価値を再発見して欲しいと切に願います。</p> <p>市民の建築に対する無関心は、言い換えれば、鳴門市政の増田建築への無関心を表しています。価値に気付かずに解体する前に、広く外の声を聞くことも重要ではないでしょうか。</p> <p>青森県の弘前市では、増田友也と同時代に活躍した建築家の前川國男が設計した建物が9棟残されており、そのPRを弘前市が積極的に行っています。</p> <p>これよりも多い19棟の増田建築群が残る鳴門市は、近代建築を語る上で、日本でも他にない稀な存在と言えます。増田友也の評価が同時代の建築家である前川國男や丹下健三より低いとされたとしても、これだけの建築群を初期の作品である市民会館から、遺作である文化会館までおよそ20年に渡る活動の変遷を一望できるのは鳴門市だけです。これらは、近代建築の歴史上価値のあるものだと思いますし、建築教育上の意義も大きいと感じます。このことに早く気づき、鳴門のうず潮、板東俘虜収容所、八十八ヶ所巡礼らと共に観光資源としてアピールするべきだと思います。</p> <p>20年後に、その昔市民会館や市庁舎を壊そうとしていた時期があると、笑い話で語れる日が来ることを願っています。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
85	<p>1963年に建設された現市庁舎は、計画時の建築が持っていた美しさや機能を十分にいかし続けることができず、市民に愛されている市庁舎とは言えない状態です。</p> <p>建築の経年変化や新たな設備の要求に対し、対応が追い付かず職員の皆さんにとって決して良好な労働環境とはいえず、また利用する市民にとっても、ただ古くて汚い市役所との印象を持っている人が多いのではないのでしょうか。</p> <p>これは単に建築自身の劣化やメンテナンスの不備、使い方の問題ではなく、多様化する業務や設備、複雑化される情報管理等の要求に建築自体が対応できていないのではと考えられます。</p> <p>現状を見る限り、現庁舎をリノベーションして新たな庁舎として再生することは、そこで働く人、利用する人にとっても良い結果を生むとは思えず、建替は適切な判断であると思われまます。</p> <p>ただ、築50数年を経て今なお現役で活躍するこの建築に機能や利便性だけでは図れない精神性や力強さを感じるのも事実です。ワンフロアワンルームのフレキシブルな空間は、他の用途への変換が容易であり、また美しく再生することが可能です。隣接する市民会館も含め、市民に愛され利用される建築への再生の可能性を十分に持つ建築です。</p> <p>鳴門市には人が自然と集う場所が必要であり、それは駅から市庁舎を経て大塚スポーツパークに繋がるエリアと考えます。新市庁舎とともに現市庁舎を市民の集う施設として再生することは、空洞化する市街地の起爆剤となり、周辺地域の活性化に欠かせない要素となるのではないのでしょうか。</p> <p>例えば宝塚市の新市庁舎計画は、築40数年の既存の市庁舎を残し、周辺に1階部分をピロティ(吹きさらし空間)として開放した低層の新庁舎や広場、駐車場等を計画しています。市役所周辺の環境は美しく保たれて、市役所と一体となった河川沿いの公園や体育館などに人があふれている様子は一つの理想的な役所周辺環境の在り方で、鳴門も宝塚同様、もしくは宝塚以上のポテンシャルを持つ立地条件でありその環境を十分に生かした計画が望ましいと思います。</p> <p>今回の市庁舎の計画と並行して、図書館、体育館の在り方なども検討が必要ではないのでしょうか。</p> <p>すでに耐震改修が進んでいる図書館も決して立地条件や交通の便、駐車場からのアプローチの安全性等は良いとは思えません。</p> <p>例えば現市庁舎を、『新庁舎社導入機能の6.情報発信・交流機能』に加え図書館の一部の機能と従来の図書館にはなかったシアター、ギャラリーなど人の集まるメディアセンターとしてはどうでしょうか。</p> <p>また現図書館は資料の収集、保管、整理などを主とした施設とし活用するが、場合によっては売却も考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>市民会館以外には勤労者体育センターしかなく、不足している鳴門市</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
85	<p>の体育館施設をあえて解体せず、ジュニアサッカー、フットサル、児童クラブなどオープンな利用方法ができる多目的屋内広場として整備してはいかがでしょうか。</p> <p>50数年の月日を市民とともに歩んできた市庁舎、市民会館に新たな用途を持たせること、これはカフェや民泊施設のような一過性の流行に左右されるものではなく、市の施設として必要不可欠で、また行政でなくては持続的な運営のできない市民サービスの施設、何よりもそこに市民が自然と集い街の活性化につながる施設への再生を望みます。</p> <p>50数年前、建築家増田友也が提案した文化会館から市庁舎までのペDESTRIANデッキ(2階レベルの広場)の考え方は、駐車場対策、市民の集う環境づくりと合わせ、震災時には津波の避難場所にもなりえ、フェーズフリーの考えにも十分対応可能なコンセプトになるのではないのでしょうか。</p> <p>新庁舎を、現庁舎と文化会館の間(共済会館跡、文化会館駐車場、民間駐車場など)に計画し、1階部分は一部窓口機能とピロティとする。平時には駐車場、マーケット 有事には津波避難場所、仮設住宅の基礎となるペDESTRIANデッキにより各施設を接続することで、駐車台数も十分確保され、盛土より上質なフェーズフリーの実現が可能です。</p> <p>ぜひ現市庁舎と現市民会館は解体せず市民のための施設として再生、新庁舎は周辺別敷地へ計画、新旧庁舎が併存し平時には市民に愛され、有事には防災拠点となる新市庁舎を核とした周辺計画をされることを強く望みます。</p>		
86	<p>現本庁舎の保存活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの場として、市民活動の集会場、研修室、会議室、図書室、子ども自習室、カフェ等に転用する方法を検討すべき。 ・民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべき。 ・増田建築の現在の価値ばかりでなく、将来の価値も考えるべきでは(板東俘虜収容所のように、まちづくりの資源として時間をかけて育てて行くことも大切なのは) ・増田建築群(市民会館、本庁舎を含めた19施設)の今後どのようにしていくのか議論して、今後のビジョンも基本計画に入れて欲しい。有効活用できる可能性を検討して欲しい。 ・老朽化は否めないが、今回の解体対象は増田友也の最初期の建築であり、観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。 	<p>現本庁舎や共済会館、市民会館の活用に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
87	<p>現本庁舎の価値について 鳴門市には県内外から注目を集める増田友也氏設計の建物が19棟あり、現庁舎、市民会館は2008年にDOCOMOMO JAPAN近代建築として選定されている、また昨年文化会館と旧老人福祉センターが続いて選定されました。 市民会館は鉄骨造、現庁舎はRC造で、増田氏にとっては、前期の作品になります。 中期、後期の作品がまとめて19棟あるのですから、これをまとめて、観光、まちづくり資源として、育てていく事が 大事ではないかと思えます。解体することには反対します。</p>	<p>現本庁舎や共済会館、市民会館の活用に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。 故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D
88	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国放送のニュースを見ました。はっきり言って驚きです。世界で認められた建築(増田友也:市民会館、本庁舎、共済会館、ドコモモに認定)をしっかりと理由も説明無しで、解体しようとするのは、腑に落ちません。鳴門市の財産ですよ。しっかりと保存について、議論してください。国の補助金を取りに行き急ぐのはわかりますが、鳴門の未来もかかっています。パブリックコメントは貴重な市民の声として、アンケートよりも重視して受け止めてください。よろしくお願いします。 市長さんにとって、新庁舎を建てたというのは名誉なことになると思います。が、市民会館、本庁舎を解体するのは、大きなマイナスイメージであり、言われ続けることになるかと心配もします。 ・ 今回の解体対象は増田友也の最初期の建築であり、観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。(新庁舎の建設はとてもいいかと思っています。) ・ 民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべき。 ・ 市民会館、本庁舎、共済会館の利活用のサンディングをしてしっかりと検討してください。 ・ 増田建築群(市民会館、本庁舎を含めた19施設)の今後どのようにしていくのが議論していますか？今後のビジョンを示して、基本計画に入れて欲しい。 	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。 故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
89	<p>「鳴門市第六次総合計画」の「観光、交流のまちづくり」「文化財の保護と活用」は絵空事なのでしょうか。</p> <p>「モダニズム建築の記録・保存を行う国際学術組織DOCOMOMO－JAPANに選定された増田建築は「文化遺産」ではないのでしょうか、ブランド力の強化に値する物でないとい市は判断しているのでしょうか。</p> <p>「観光ニーズの多様化」と謳っていますが、どこまで多様化を考慮しているのでしょうか。</p> <p>年末のNHK紅白歌合戦での大塚国際美術館からの中継は新たな観光拠点を生み出したと思います。美術館が建設された時の地元の評価はあまり良く言われていませんでした、美術館職員の地道な継続的努力が平成30年12月31日に実ったと思います。</p> <p>ネット上に「ドコモモ・ジャパン・ツアー」がありました。「増田建築の跡地です。」では資源にならないと思います。川東から見た増田建築群の景色はロマンチックで美しい、ロケ地として売出す努力をしたことはあるのでしょうか。</p> <p>篠山市の篠山城大書院は、最近の時代劇映画やテレビドラマの撮影場所となっています。ロケセット制作経費より利用経費が安くまた調度品が正確とのこと。住民は思わぬ収入源になっていると言っていました。</p> <p>今すぐに利益を数字で上げられる物しか価値は無いのでしょうか。存在してこそ活用できると考えますが貴重な資源を壊してゼロにする考えでしょうか。</p> <p>私達鳴門市民は、増田建築に育てられたと言って過言でないと思います。建築物が人の成長に及ぼす影響は多大ですが、空気や親ように意識されないもののように思います。私個人の体験でも、幼稚園の時に市民会館で観た山城清治の影絵劇の感動は衝撃的でした。その感動が原点となり、子どもにおはなしの世界を届けたい。子どもの読書環境を整えたいと仕事に取り組んできました。また、文化会館の玄関は、日常の世界から非日常の世界に誘う仕掛けの低い天井になっています。まさに茶室の躍り口です。これも無意識下で人々の芸術的素地を育ててくれています。低い天井は増田建築の学校や幼稚園にも感じます。籠って学習する、籠って考える。深く思考する時の人間の習性に適っていると思います。そこで育った市民は今、日本中で、世界中で活躍しています。この素晴らしさを再確認し、発信方法を検討する価値は多いにあると考えます。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
90	<p>現本庁舎の保存活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの場として、会議室、図書室、子ども自習室、カフェ等に転用する方法を検討すべき。民間に使用してもらい稼ぐ施設にしていく方向で検討すべき。 ・民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべき ・増田建築の現在の価値ばかりでなく、将来の価値も考えるべきでは。徳島新聞の連載、リビング鳴門の連載により多くの方に増田建築を知ってもらえたのかと思います。これからも価値をどんどん高めることは大いに可能であり、鳴門市としての価値をさらに高めてもらいたい。 ・増田建築群(市民会館、本庁舎を含めた19施設)の今後どのようにしていくのか基本計画に書かれていません。今後のビジョンを示して、基本計画に入れて欲しい。 ・市民会館、本庁舎は、増田友也の最初期の建築であり、観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。 	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D
91	<p>公文書は保管期間を明確にし、スリム化を図ることは良いことですが。永久に残さなければならぬものもあります。公文書が文書(モンジョ)となります。</p> <p>鳴門市は古来より中央政権に近く四国の入り口に位置するため多くの歴史的資料があります。徳島県の郷土史家も鳴門の先生方が多かったのですが、現在多くの方が亡くなられ、歴史的資料の重要性を正しく知る人が数人となりました。</p> <p>貴重な歴史的資料は市内の建物に分散して保管され、市民に公開されず眠ったままです。また、民間の貴重な文化遺産も市では保管できないため、市民は徳島県、徳島市、徳島大学、鳴門教育大学に寄贈しています。「鳴門市第六次総合計画」には、「文化財を保護・保存し、活用することが心のゆとりや地域の再認識につながる重要な役割を果たす」と謳っています。観光資源とするだけが活用ではないと思います。市民が知って学び初めて町を誇りと思い、活用できるのではないかと思います。</p> <p>また、鳴門市民の多くが徳島市、北島町、板野町などの講座に参加しています。公民館だけでは対応しきれない生涯学習があるのではないかと思います。</p> <p>現庁舎を再活用し、「文化財の保護・保存、活用のため展示をする資料館」そして「生涯学習の場及び市民が自己表現するためのギャラリー」として市民の知的財産の場にして欲しいと思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
92	<p>増田建築について 増田建築について、夫の職業柄、かなり前から興味を持ち勉強してきました。新庁舎建設で、今回改めて深く勉強する機会を持ち考え方がすっかり変わりました。</p> <p>私が市役所に勤務していた当時、かつての谷市長が箱ものばかりを建設したが故の「負の遺産」に対して不満がいっぱいでした。寒い・暑い・雨漏り・すきま風・耐震性はないという建築物に職員が押し込まれた状況で仕事をしなければならないことに、こんな職場は最悪だ！職員のためにも市民のためにも財政状況が回復したら、一日でも早く新庁舎が建設されれば良いのにと考えていました。</p> <p>しかし、未曾有の東北大震災を見て、台風等による全国の被災地の状況を知り、市庁舎を現地に建てることは不適切であると考え、その結果、増田建築の代表作でもある「鳴門市役所」「市民会館」「共済会館」を改修して別の活用を考えた方が良く思うようになりました。</p> <p>新聞やリビング鳴門に増田建築が取り上げられ、興味を持つ人も少しずつ増えているようですが、文書ではあまりピンときません。ところが大道で開催された「・・・市民会」においてパソコンで現在の市役所の基礎・骨格をわかりやすく説明していただき、これを壊すのはもったいないと考えるようになりました。これは市民会に参加した人が同じように話しております。市長はじめ幹部の方々に増田建築について市庁舎の構造と、改修後の利活用などを見ていただき、今一度「負の遺産」でしかなかった建物を違う角度で見て考えていただきたいと思います。これはいくら口や文章で説明しても、理解してもらいにくいと思いますので、市民会のメンバーにパソコンによる写真や映像を使ったプレゼンテーションを見ていただくしかないと考えました。</p> <p>鳴門市内には市役所をはじめ19の増田氏による建築物があります。廃校になり、市のお荷物となっているものが多く、厳しい財政状況の中難しいとは思いますが、弘前市の成功例もありますので、発想の転換をしてゴミの山を宝の山にしていくことを考えていただきたいと思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえ、うえて、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
93	<p>現庁舎などの増田建築の扱いについて 増田友也氏によるモダニズム建築については徳島新聞やLivingでも連載されました。また「未来の鳴門を考える市民会」の講義を聞くことで、増田氏の建築に対する姿勢や当時の谷市長の公共、教育に対する思い、現庁舎、市民会館、文化会館はDOCOMOMO日本支部が選定する145選に選ばれているほどの建築的価値があることも知ることができました。しかし20年前に関東から鳴門に引っ越して公共施設を利用したり、第二中学校に息子たちが通ったり、私自身も島田小学校、瀬戸小学校・幼稚園、鳴門東小学校・幼稚園、北灘東・西小学校・幼稚園で仕事をした経験があるのですが、それらが有名な建築家によるもので、建築過程やその価値について聞いたことはありませんでした。学校の方はおもしろい変わった建物だな、と思ったくらいです。それらの学校で仕事をしていたので建物内部、子どもたちの校舎内での様子をよく知っていますが、いわゆるハーモニカ型の校舎ではなく教室は少しずつ隣とずれているので独立していて活動や勉強に集中でき、その構造によって廊下にも広場があり、その空間を集会、読書、卓球などと多目的に利用していました。内部は迷路のようなところもあり、天窓からの明かり取りも工夫されていて、わくわく感もありました。文化会館に関しては数年前にPTAの全国大会があった当日に、東北のどこかに通う建築を勉強している中国人の留学生が旅行中に訪れ、内部を見せてほしいと言われました。その時に初めて有名な建築家によるものだと、建築家の友人が教えてくれ知りました。市民はこの程度のことも知らない方が多くいると思われそうです。</p> <p>増田氏による建築は33くらいあるそうですが、そのうち鳴門市内に19もあり、約20年間かけられて建設されています。20年間にはモダニズム建築の歴史も専門的には捉えることができると思います。そして市民会館と庁舎は初期の建築、文化会館は遺作と聞きます。学校に関してはいくつか似たものがありますが、初期の市民会館と庁舎は両方とも構造的に他とは違う特徴があります。それを両方とも、いずれは共済会館まで壊してしまうのは鳴門市の「財産」の大きな損失だと思います。市政わずか70年の鳴門市のうちの20年間は鳴門市の文化や歴史を語る上でも大きな役割を果たしてしており、19のうち6つが鳴門市の中心街にあるわけですから観光資源としても十分に利用できると思います。</p> <p>鳴門市ドイツ館にまつわる昨年の数々のイベントは大盛況でしたが100周年です。50年前はドイツ橋(めがね橋)とパン屋さんくらいのことしか知られていなかったと聞きます。この間の板東地域の方々の労力は大きく、今では市の事業としてもドイツと交流が盛んで国際規模になっています。モダニズム建築は近年の建築なので一般的な評価はまだ難しいのかも知れませんが、そこで働いている職員の方々にさきほど価値についてはあまり知らず、汚くて空調が効かず早く新庁舎がほしいと思われている方が多いと聞きます。汚いのは55年の間一度も大規模な修繕をしてこなかった</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうしたことも踏まえたくらみ、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討します。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
93	<p>からでしょう。しかしモダニズム建築はコンクリートや鉄骨を使用する現在の建築の基礎となっている貴重なものなので、その評価は将来ますます出てくると思います。その時に「鳴門市には19もあったのに」では残念です。新庁舎建設にだけ目を向けるのではなく、鳴門市の町づくりとして市民の憩いの場や観光資源としても将来性があり活かしていけるように残してほしいと願っています。</p>		
94	<p>徳島市内に在住し、鳴門市内にある設計事務所に勤務している私にとって、鳴門市役所はあまり長い時間滞在したい所ではありませんでした。それは私がまだ建築設計士として駆け出しの頃、業務に必要な申請や資料を提出するために来庁し書類提出しにきた頃に起因します。担当の方に確認をしてもらい書類不備や記名漏れなど訂正事項が見つかり叱責を受け、訂正をし、何度も足を運ばなければならなかった苦い経験がありました。また公共の場ということもあり、キチンとしていなければならないという硬い印象を持っています。そんな市役所が、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また行ってみたいと思える場所になれば嬉しい ・スターバックスなどの民間企業が入っていると行きやすい ・不安だった申請作業が終わってから、美味しいご飯を食べてホッとできる ・嫌な場所も大勢の人が活気良く利用していると不安も吹き飛ばすなどが起こる場所になれば大変嬉しい。 	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
95	<p>現本庁舎と市民会館は、DOCOMOMO JAPANに登録されています。鳴門は折角の資源を自ら取り壊そうとしています。徳島は歴史的な町並みを残すことを選びました。鳴門は取り壊して道を広げることを選びました。結果うだつの町並みは観光地として大成しています。鳴門市は同じ轍(てつ)をまた踏もうとしています。</p> <p>鳴門市の資源が限られているのだから全て壊すのではなく、一部を市民交流のスペースとして利用してはどうでしょうか。市民の日常生活を豊かにする場所として、また文化財を目当てに旅行する人もいますので、交流人口増加のきっかけになると思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
96	<p>市役所庁舎はただ単に市民にとって、便利なところに新築すればいいものではありません。鳴門市の今後の未来を考えて下さいと切に思っています。</p> <p>私は高校生ですが、若い学生が今後、鳴門市を担っていくこととなります。魅力のある鳴門市でなければ、若者も市外へ出ていく事になるだろう。やがて、現在課題である過疎が鳴門市も進むことになってしまうのを避けなければなりません。このままですと、鳴門市の活性化も人口増も見込めないと考えています。そして、現在、鳴門市に賑わいの場所が無いのが問題かと思っています。この機に、まちづくり、市民が誇りに思える場所、週に一度は行ってみたい場所、市外の方、県外の方、観光客、サッカー観戦の方など、鳴門と言えば「ここ」というそんな施設を考えてみていただきたいのです。</p> <p>今ある鳴門市の財産である、世界で認められた建築(ドコモモ)市民会館、現本庁舎がありますが、十分な資源を有効に活用する提案を行ない、市民の憩いの場所、観光客が必ず行ってみたい場所づくりをかなえてもらいたい。と望みます。新庁舎で使用するのではなく、新庁舎は新築して、民間が入り活用する考え方があるのではないのかと考えます。</p> <p>あとで、「解体しなければよかった」と後悔は避けてください。未来がかかっています。ちゃんと市長さんとして恥じない決断よろしく願います。</p> <p>市長さまへ 増田建築の価値をどのようにお考えでしょうか？特に、2万人もの利用がある市民会館、現本庁舎についてお聞かせください。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D
97	<p>増田建築 建築に従事する者です。鳴門市にとって増田友也設計の建築群は日本に誇る宝であると考えています。市庁舎が老朽化し建て替えることについては異論ありませんが、現在の市民会館と市庁舎を解体することについては議論が足りていないように思います。狭い範囲での議論ではなく、広く様々な分野の専門家を交えて解体の是非を検討願います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
98	<p>親しみのある市民会館です。愛着があります。これが無くなるのは市民にとってとても残念なことになります。現在もいろんなイベントに使用されているのに…。市民の方は思い出がいっぱい詰まった施設ととらえていますよ。本来であれば、解体すべき施設ではないかと思えます。現庁舎敷地に建設しようと思うからそんなことになっているだけかと思えます。世界が認める建築に市民会館、本庁舎が認定されているので、そんな価値の高いものをなぜ、有効利用をしようとしなくていいのかわかりません。新たに新庁舎を新築するのは納得できます。市民会館、本庁舎の利活用に関して、可能かどうか再検討すべきです。企業、民間など手をあげるところもあるはず。調査してください。</p>	<p>市 の 考 え</p> <p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D
99	<p>世界が認めた建築 鳴門市庁舎、鳴門市市民会館の歴史的価値の再検討、利活用プランを求める。</p> <p>現市庁舎、市民会館は、DOCOMOMO JAPANが認めた県内唯一の近代建築群である。</p> <p>このことは、徳島県、四国、日本国の歴史的な財産であり、鳴門市の一存で解体を決めてもいいのでしょうか？検討委員会で何度も何度も話しにでてきているが、これに関する専門家の意見がみられない議論がなされていない状況である。日本建築学会や、DOCOMOMO JAPANのような歴史的建造物の専門家をまねき、文化、歴史を重んじる鳴門市なのであれば、しっかりとした所見のもと議論をする必要があると考える。</p> <p>昨年、鳴門市の中学生の夏休みの自由研究で、1等賞をもらったタイトルが、「鳴門市の宝 増田建築」である、未来を担う若者が、歴史、文化を重んじ、まちづくりを考えていることを、知っていただきたいのと、価値あるものは利活用することがまちの財産と教育になるのではないのでしょうか。</p> <p>徳島新聞の異例の17回にわたる連載やリビング鳴門の建築遺産の連載についても、このまちの意見としてとらえてほしい。全国の事例を研究し、利活用プランの検討(多用途もあり)をもとめる。</p>	<p>市 の 考 え</p> <p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D
100	<p>鳴門市の将来人口は減少することは明らかである。数年後には10,000㎡-12,000㎡の床の一部が不要になり、余った床面積分の利活用方針を考えておく必要がある。</p> <p>竣工後、約十年で訪れる必要床面積変化の課題解決策として現本庁舎の一部を市民交流のスペースとして利用するのはどうか。一部を残しておけばよかったと思う日が来ても、全て解体してはもう遅い。</p>	<p>市 の 考 え</p> <p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、今後、基本設計の中でよりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
101	<p>【市民目線での現庁舎利活用の検討】 実際には37%の人が関心をしているものの、「市民アンケートの結果、多くの市民がコストの抑制を望み、また、現本庁舎が近代建築として評価を受けていることに関心が無いとしている」とする記載に、鳴門市出身者としては納得することができません。37%もの市民の声を無視する、ということにはなりませんか。 新庁舎やその他にかかる市の支出を抑制しながら、(近代建築であるかどうかには関係なく)市民生活に有益な文化活動の場(現市民会館が持つ機能)や、店舗などの機能が導入出来るのならば、現本庁舎は市民にとっての価値となるのではないのでしょうか。この考え方について、再度、市の当局と、検討委員会で真剣に議論して頂けないでしょうか。 現本庁舎の近代建築の価値自体が無いに等しいと市が判断したとしても、既に立っている建築物に適切に手を加える事で、市民サービスを向上させたり、現市民会館の文化機能の移転先としての活用可能性を検討して頂けます様、お願いします。</p>	<p>現本庁舎の活用に関する検討を行ったうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。 また、市民アンケートの結果、「現本庁舎が近代建築として評価を受けていることに関心が無い」と回答した方が全体の約6割と、過半数を占め、「強い関心がある」「少し関心がある」とされた方の自由意見をみても、「現庁舎は解体する」「きれいな庁舎に立て直してほしい」という意見も少なからずありました。</p>	D
102	<p>【市による現本庁舎の利活用】 増田建築の代表作である現庁舎は、他の用途に転用して、活用し続けて欲しい。鳴門市が、対外的にPRできる、市民が誇れる数少ない文化資産である。文化会館とあわせて、一人の建築家が設計したモダニズム建築を6つも徒歩で見てまわれることは、全国的にも珍しく、建築博物館として、鳴門市にはこれらを活用した観光プロモーション用の施設に再生して欲しい。 用途案として、 ・文化イベントの場の(市民会館の機能の移転先として) ・鳴門の名産を味わえるカフェ、レストラン → シビックプライド、観光振興 ・観光客に訴求する物産館 → 観光振興、農業・漁業振興 ・書店、自習スペース → 文化振興、教育 ・ヴォルティス徳島 クラブミュージアム施設、パブリックビューイング施設 → スポーツ振興 ・増田友也 建築博物館 立地条件、建築物の価値にレバレッジをかける事で、比較的 low 額の投資に対して、複数の効果(リターン)を望める、ROIの高い公共投資案件であり、市としてこれを十分に検討しない事は、市民に対して機会損失を被らせる事になる可能性がある。よって、この可能性を十分に検討して頂きたい。</p>	<p>ご意見いただいたような既存庁舎の活用案も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
103	<p>方針決定に至るプロセスへの疑問 テレビで「委員会としては現庁舎の取り壊しやむなしとの結論を得た」との委員長発言を拝聴しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 多くの市民が現地建替えを希望・選択するような作為的なアンケートの結果 精緻でない駐車場規模検討 過半数の市民が近代建築の価値に興味がないことを理由に約4割の意見を捨象 利活用に要する追加コストの市民理解が得られない <p>の4点を理由にこの結論を導いたことは、非常に残念ですが論理性の欠如を露呈した、あまりに浅はかで杜撰な検討と言わざるを得ません。出身者として恥ずかしいです。</p> <p>特に「利活用に要する追加コスト」については、統計と事例上ほぼ明らかに将来余剰床を抱えることになるコストのかかる大きな庁舎規模を堅持し、民間活用意向のヒアリングを行わないのは、純粋に時間的広がりや主体の多様性に考えが至らない知識不足・想像力不足によるものなのか、それとも庁内外のどこかから解体工事・土木工事・建築工事などに関連して利益誘導を迫られているためのやむを得ない作為的行為なのでしょうか？</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>有識者で構成する検討委員会では、こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
104	<p>現本庁舎の利活用について、民間活用意向のヒアリング実施を要望 横浜市庁舎は、現庁舎の利活用公募前に、民間活用意向のヒアリングを行っています。</p> <p>民間企業は、いくら自治体が求めたとしても無理な利用用途は無理、とハッキリ言います。既存建物の活用だから関心がある、という意見は、一定数あります。また、改修費の具体化、リース料、賃料と改修費の相殺、賃貸借期間と減価償却の関係など、具体的な意見が出てきています。</p> <p>ヒアリングを行うことで民間企業が何に関心を持つか、何を気にするか、民間事業として成立するか、おおよその見当が付きましますし、民間企業も新しいビジネスチャンスを探しているの、鳴門市と大都市は違うから無理だ、とやる前から決めつけずに、まずは意見を聞いてみるべきと考えます。</p> <p>その上で可能性のある意見がなければ、躊躇なく取り壊せば良いと思います。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>有識者で構成する検討委員会では、こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
105	<p>現本庁舎の利活用についての民間活用意向のヒアリング手順 市は、市町村役場機能緊急保全事業によって、国から事業費の20.25% (=0.9*0.225)の補助金が獲得できるため、最大限の補助金獲得と、将来に予見される南海トラフ地震への備えの2点を理由として早期の新庁舎整備を実施したいと理解していますし、私もその方針に賛成です。 故に、基本計画をやり直さない場合の望ましい民間活用意向のヒアリング手順を次の通り提案します。</p> <p>①本庁舎解体に適用する補助金、約2,000万円(=約1.1億×0.2025)を含め、庁舎整備の補助金を最大限に申請しておく。 ②2019-2022年、新庁舎の基本設計・実施設計・建設工事を進める。 ③2019年、現庁舎利活用に向けた民間ヒアリングを実施。(以下、結果によりA/Bに場合分けをする) ④-A 2019-2021年、民間ヒアリングで有望な利活用方針が現れれば、民間公募手続きへ進む。 民間企業との利活用契約締結後に、解体がなくなったとして補助金申請を減額。(解体費用への補助金請求を取り下げ) ④-B(※④で民間活用の可能性がなければ、予定通り現本庁舎を取り壊し。) ⑤ ④の結果に依らず、スケジュール通りに新庁舎へ市役所機能を移転。 ⑥-A 現庁舎の改修に着手、その後運営。 ⑥-B 現庁舎の解体に着手、その後、広場や駐車場として運営。 以上から、市としては、何ら不利益を被ることなく、スケジュール遅延もなく新庁舎を建設できるため、民間活用意向のヒアリングを必ず行ってください。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 有識者で構成する検討委員会では、こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
106	<p>「誇りと愛着を深めるような仕組み」の具体策 基本計画案にある文言、「市民が鳴門の魅力を再発見でき、地域への誇りと愛着を深めるような仕組み」は、正に現庁舎等の利活用が最もふさわしいと考えます。鳴門市の財源が十分でないことを鑑み、まずは民間投資の可能性がないか民間活用意向のヒアリングを試みるべきです。市民の来庁回数は限定的であるため、現時点では現庁舎等を誇らしく思う市民は多くないと思いますが、適切な改修と適切な機能導入により、市民が誇りと愛着を感じ、観光客を惹きつける場所へと転換させることは十分可能と考えます。</p> <p>「鳴門市民はどこか劣等感を抱えているようだ」、「歴史的資料がゴミ同然に放置・散逸されている」とのご意見を伺いました。一方で、よく言われる観光資源・海産物・農産物に加え、リゾート地といえる海水浴場、釣りスポット、離島、ゴルフ場がありますし、世界的製薬企業発祥の地、塩田や商業港として栄えた歴史など、様々な履歴を持った土地でもあります。誇りと愛着は一日にして成るものではなく、これを深めるために使えるのは、我々が辿ってきた土地の履歴に他なりません。現庁舎等を、この土地の履歴の末席に据えることは出来なんでしょうか。歴史を捨てた都市はジェネリックシティとして揶揄されるだけでなく、主要産業を失った途端に吸引力を失い、衰退の路を歩み始めます。都市の未来は、常に歴史と現状を補助線に次の手を考えるしかないのです。</p> <p>しかし、ヒアリングをして実施困難との結果が出れば、鳴門市や現庁舎等は民間企業の投資対象としての価値はないものと受け止め、取り壊しやむなしと考えます。</p> <p>(市民からは、市民会館への幼少期の思い出も聞かれましたが、鳴門市財政、民間資金ともに投入できなくなれば、大変遺憾ではありますが、お金の問題によって、これら市民が自身の歴史を思い起こす建物は解体・消去せざるを得ません。)</p> <p>この検討に2年間の時間をかけたとしても、新庁舎の建設に時間的制約を与えるものではないため、ぜひ2019年度には、「現庁舎にかかる民間活用意向のヒアリング事業」を予算化して下さい。新庁舎全体の建設費から比べると、非常に安価な予算で対応可能です。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>有識者で構成する検討委員会では、こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
107	<p>文化財相当の価値が及ぼす効用の検討を要望 現本庁舎(築55年)、市民会館(築57年)は、登録有形文化財である弘前市庁舎(築60年)との類似性が見られます。類似の価値と言えることは、建設後50年以上が経過、DOCOMOMO Japanに登録されている、の2点です。登録有形文化財への登録には所有者(鳴門市)の同意が必要ですので、鳴門市が登録の意思を示せば、比較的短期間で鳴門市に文化財を2つ増やせる可能性は高いです。しかし、現在の基本計画素案からは、折角の資源を自ら取り壊そうとしているように読み取れ、もったいないなあと思います。</p> <p>鳴門市の財源が限られていることは承知していますので、極力公費を使わず、民間活力を上手く活用しながら、市民の日常生活を豊かにする場所として(例えば、週末は文化財でランチ、という光景が作り出せるかもしれません)、また、文化財を目当てに旅行する人もいますので交流人口増加のツールとして、最大限利用できるよう検討をお願いします。</p>	<p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>有識者で構成する検討委員会では、こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
108	<p>基本理念の「鳴門らしい庁舎」のイメージがどこにも示されていないように思われる。鳴門の特徴は海であり渦潮で代表される。それを増田友也先生は現庁舎で青と白で表現された。そこで外壁とか内壁とか可能な範囲で色彩は青と白をベースにしてはどうだろうか。さらには増田建築の特徴である縦のルーバーを模したデザインも随所に特徴的に取り入れてほしい。そうすることによって新庁舎と文化会館など他の増田建築群との一体感が醸し出されると思われる。</p> <p>また、この際、取り壊される現庁舎、市民会館、共済会館とともに市内にあるすべての増田作品を写真パネルとか設計資料などとともに記念会館的に一堂にまとめて残すことを提案したい。文化的な価値の高い素晴らしい近代建築遺産として鳴門の宝とすることができると思われる。</p>	<p>新庁舎では、地域の歴史的な文脈に配慮し、故増田友也氏が設計した文化会館や健康福祉交流センターなどの公共建築と調和した施設整備、環境整備を行います。</p> <p>また、故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
109	<p>新庁舎の規模や駐車場、現庁舎の利用法について</p> <p>「基本計画」と有識者による検討委員会では市民会館あとに新庁舎を建て、複数ある市役所の建物を統合して新庁舎に移転し、その後現庁舎と共済会館を壊し、広い駐車場にするとされています。町の中心部が巨大な平面駐車場になってしまうのは日常的にはもったいないと思います。近くには文化会館の駐車場もあり、不足するようなら松茂の「とくとくターミナル」のように民間の空き地が駐車場になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>「基本計画」を白紙に戻すというのはこれまでの経過と労力をから困難なことと思いますが、その新庁舎の規模と現庁舎の利用法についてはまだまだ検討の余地があるし、すべきだと思います。まず、規模ですが分散している建物を統合することが目的のひとつであり、職員数や現在の使用面積を考え合わせると使用面積が10000㎡～12000㎡と想定されています(p.34)。これは最大限の数値を取っていると思われませんが、建物を統合すれば効率的になるので、不必要な面積が出てきます(トイレや通路など)。今後鳴門市の人口は減っていくことは明らかなので、職員数も減るし、ITなどの進歩と共に仕事内容の効率化も図られると思うので、9000㎡くらいで十分との専門家のお話を聞きました。将来的に不要となった面積は市民の活動の場に利用したり、民間に入ってもらおうと考えられるのかもしれませんが、外部の出入りが多ければ、市役所である以上セキュリティ面で危険性が高まるのではないのでしょうか。また、余分な面積まで維持していくにも経費がかかります。コンパクト化を目指している(p.35)のですから十分にご検討ください。そして庁舎を計画より小さくすることで浮く経費と不要になる解体費を現庁舎の修繕や耐震化に利用する方向を検討していただきたいと思います。</p> <p>もし市民会館が解体されることになるなら、現庁舎は増田建築の初期の特徴ある建築なので、ますます残していただきたいと思います。庁舎としての役割でなければ国の耐震基準も少し緩いと聞きました。鳴門市には重要な歴史的資料がたくさんあり、それらは展示する場所もなくあちこちの倉庫にただ保管されているのが残念、と元職員の方から聞きました。それらを展示したり、美術館やギャラリー、増田建築についての展示室、子ども図書室やキッズスペース、学習室、民間企業にオフィスとして貸し出す、もちろんカフェやレストランなど昼間使える市民の憩いの場としても使用できます。駅前には「夜の店」しかなく、鳴門市の教育的配慮のない駅前の町づくりに引っ越してきた当初は驚きました。新庁舎だけ建てあとは駐車場ではこのような憩いの場所は生まれません。そして現庁舎をこのように利用することで交流人口の増加にも繋がると思います。もし9000㎡が狭いようなら初めのうちは年に数ヶ月しか使用しない議会室などは現庁舎に残しておくこともできます。市民会館あとに庁舎を建設することになれば、工事中にも現庁舎の利用法は検討する時間があるのではないのでしょうか。ぜひ検討をお願いいたします。</p>	<p>現本庁舎の活用について</p> <p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなどの課題を抱えています。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などの近代建築としての価値が、市民にとっての価値には至っておらず、これらを存続させていくための負担に、市民の理解が得られない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
		<p>新庁舎の規模について</p> <p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
110	<p>私は大学生です。思ったことを箇条書きですがコメントします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現本庁舎の保存活用について、子ども自習室、カフェ(スタバ)、フィットネス、ひろめ市場のような飲食等に転用する方法を検討すべきです。賑わいのある利活用を！民間に使用してもらい稼ぐ施設にしていく方向はどうか。鳴門市の活性化につなげる！ ・現本庁舎の保存活用について、民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべきだと思います。 ・増田建築のについて徳島新聞の連載、リビング鳴門の連載により多くの方に増田建築を知ってもらえたのかと思います。なぜ、鳴門市はそのようなアピールをしてこなかったのでしょうか？疑問です。やり方次第で、これからも価値をどんどん高めることは可能で、鳴門市としての価値をさらに高めてもらいたいです。集客も望めます。 ・増田建築群(市民会館、本庁舎を含めた19施設)を今後どのようにしていくのですか？今回みたいに、未来を考えず次々と解体をしていくのでしょうか？そんなことは止めてくださいね。そんなふうを考えているのであれば鳴門市の考え方に私は正直つらいです。 ・市民会館、本庁舎は、増田友也の最初期の建築であり、観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。 ・新庁舎は魅力のある、誇りに思えるデザイン、計画としてください。鳴門市、市民が誇れるものです。愛着が生まれるものを望みます。そのために、基本設計の業者選定はプロポーザル方式があると調べました。この方式でお願いしておきます。 <p>また、時間はかかりますが、市民と作りあげる新庁舎であってほしいから、この段階でも市民の声をしっかり聴けるシステムを考えて導入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このパブリックコメントを募集していること、市民の何割の方が知っていますか？ <p>そんなことも把握しつつ、市民に説明をどうしていくのかしっかり考えてもらう事も、行政のお仕事だと思います。ホームページ、広報鳴門に掲載すればそれでいいとしていませんか？ほんとにこれでいいのでしょうか？この計画内容、ほとんど知らないと思います。</p> <p>この時代、市民にしっかり寄り添い一緒に協議していくことが必要だと考えています。</p>	<p>現本庁舎の活用について 現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>市民会館については、その建替えや機能の継続などについて、別途検討を進めます。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p> <p>設計者選定について 設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。</p> <p>今後のプロセス開示等について 今後も、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、市民にとってわかりやすく、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	<p>D</p> <p>B</p> <p>B</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
111	<p>現市庁舎は、設計意図及び建築当初の考え方に現況としては全く合っていないと思います。例えば、ワンフロアのフレキシブルな空間をわざわざ仕切りで区切りながら使用されていたり、空中回廊のような建物外にある2階部分の通路は現在全く使われていないと思います。私がたまに市庁舎を訪れても不便さを感じますし、職員の皆様も仕事がやりにくそうだなとも感じます。</p> <p>従って、市庁舎の建て替えには賛成します。</p> <p>しかし、現在の建物自体は50数年経っているとはいえワンフロアの空間を活かした利用価値がまだまだあると思います。例えば図書館の展示や貸し出し機能を現図書館から移して、ギャラリーやシアターといった市民交流や鳴門の歴史を学べるような文化的発信機能を持たせたり、また同時に利用者が憩えるカフェやレストランなどもテナントとしてあれば、利用してみたいと思う方も大勢いるのではないのでしょうか。現図書館は耐震化工事中とはいえ、立地や施設の利便性も決して良いとは言えないので、保管機能を中心とするか売却も検討してもよいと思います。</p> <p>市民会館についても、当市は体育施設が十分とは言えない中で貴重な場所だと思ひますし、市民にもっと活用されるよう周知啓発すれば、フットサル等のスポーツや児童クラブで使用するなど活用方法も見出せると思ひます。</p> <p>現市庁舎は、本来2階部分から出入りすることを想定して作られているように聞きましたが、防災の観点からも1階は自転車や原付バイク等の駐輪スペースとすれば津波が来ても大きな被害は免れ、復旧作業も比較的やり易いかと思ひます。</p> <p>現施設を解体する費用もかなり掛かると思ひますが、耐震化工事及びリノベーション費用とを比べて大きく差がないようであれば、ぜひ既存施設を再活用する方向で検討して欲しいと思ひます。</p> <p>また、新しく市庁舎を建設するのであれば、平地に広い駐車場を設けるのではなく、イオンやゆめタウンなどのように立体駐車場を設け、新市庁舎の1階には自転車や原付バイクなどの駐輪場としてはどうでしょうか。できれば平地に駐車場を設けずに、子どもたちが安心して遊べる広場として欲しいです。</p> <p>立地としては、現市庁舎と2階部分が回廊を利用して繋がることできるように、周辺の共済会館とその裏の駐車場の土地が良いかと思ひます。そうすれば、立体駐車場の2階部分から新市庁舎と旧市庁舎を再利用した新施設に移動でき、津波が来ても避難所としても使えると思ひます。</p> <p>以上、現市庁舎と市民会館を文化施設として再活用するようお願いいたします。</p>	<p>現本庁舎等の活用について</p> <p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>また、市民会館についても、建築から58年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに老朽化が著しいなど、その整備が喫緊の課題となっていました。</p> <p>こうしたことも踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>駐車場等について</p> <p>必要に応じて、自走式立体駐車場の整備等について、今後の基本設計の中で検討を行います。</p> <p>駐車場の一部を多目的エリアとすることや、その他の活用についても検討を行います。</p>	<p>D</p> <p>A</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
112	<p>鳴門市新庁舎建設基本計画(案)について 上記の基本計画を‘礎’としながらも多面的・多角的観点をふまえた“鳴門市の街づくり”として、カバメント・ガバメン的な事も考慮しつつ、“鳴門市内の多様な資産(農産物・水産物・観光各所・商業に関する様々な企業・増田友也元京都大学教授設計建造物等)を活用しコラボレーション可能な“新市庁舎建設”建造物のみならず立地、駐車場と市民(徒歩と車での登庁)を考慮した新庁舎建設を希望します。</p> <p>このことを行っていく為には鳴門市のみならず他の地方公共団体の庁舎建設実施例や既存建物を活用し(耐震強度化の上)観光スポットや若手企業(家)の活用スポットや教育施設としての活用として再利用する事を重要な事とふまえ、その事が鳴門市の将来・未来像への(人と教育と行政)不可欠な要点としていくことが大切であると想います。</p> <p>これからの時代は、これまでの時代(製造業・工業の時代)からのことにしぼられず、創造&想像(想像イマジネーションから創造クリエイティブへ)&興業(上記の様に鳴門市の持つ資産を活かし若手企業・観光事業・増田建築19の建造物の活用した教育&観光名所としての活用を起業する公的企業としての鳴門市をめざす姿勢で)歩んでいくことが重要であると想います。その為には上記の様に原立地計画に縛られず、現在地の他、大道商店街 阿波銀行所在地の元市役所所在地に戻し、商店街の再開発と住宅開発を商店街内に行い鳴門駅西口開発とも伏せて行ってほしいです。</p>	<p>現本庁舎の活用について 現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。 こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p> <p>新庁舎の建設場所について 新庁舎の建設場所については、経済性、利便性、防災拠点安全性、整合性など、さまざまな視点から検討し、市民アンケート結果による市民意向、市民会議並びに有識者で構成される検討委員会の審議を経て、総合的に優れていた現庁舎敷地が最も望ましいと整理を行い、方向性を決定したものです。</p> <p>多様な資産とのコラボレーションについて 「鳴門らしい庁舎」の実現に向けては、基本設計と並行し、市民が鳴門の魅力を再発見でき、地域への誇りと愛着を深めるような仕組みを検討します。</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>B</p>

No.	意見等の概要	市の考え	反映
113	<p>新庁舎は新築がいいかと思えます。しかし、市民会館、現本庁舎の増田建築を残し、鳴門市のために民間に使ってもらえる施設に活用を要望します。市民に負担がかからないことが重要です。</p> <p>民間事業者の活用意向をヒアリングした上で検討すべきです。名乗りが無ければ解体も仕方ないです。</p> <p>サウンディング型市場調査を行って、利活用の可能性があるのか、ないのか判断してほしい。</p> <p>本庁舎の利活用について、基本設計の中で検討してもらえるように基本計画に盛り込むべきだと思います。</p>	<p>現本庁舎の活用について</p> <p>現本庁舎は、建築から56年目を迎え、一般的なコンクリート建築物の標準耐用年数といわれる築60年が目前に迫る中、耐震性能は不足し、施設・設備ともに著しく老朽化が進んでいます。</p> <p>こうした検討や、現本庁舎等の価値に関する検討も踏まえたうえで、「現本庁舎などを起点とした観光振興、活性化策の展開も検討する余地があるものの、その可能性は不透明と言わざるを得ない」こと等から、「現本庁舎などの取り壊しもやむなし」との方向性を決定したところです。</p>	D
	<p>19の増田建築群の今後どのようにしていくのか基本計画に書かれていません。今後のビジョンを示して、基本計画に入れて欲しい。お金だけを重視して、どんどん解体して行くのはどうだろうかと思えます。</p> <p>市民会館、本庁舎は、増田友也の最初期の建築なので相当の価値だと思っています。観光資源にする可能性を市民と一緒に検討して欲しい。</p> <p>基本計画では具体的なことが書かれていないように思います。大まかすぎて、それなりの設計しかできないかと思えます。もっと具体的な要望を記載すべきです。他の市の清水市、伊賀市の基本計画など参考にすべきです。</p>	<p>基本計画の内容について</p> <p>基本計画は、新庁舎建設事業の方向性を指し示し、今後実施する設計の与条件を整理するものですので、個々具体的な内容については、設計業務の中で検討を進めます。</p>	C
	<p>コンパクト化について、部屋の利用率を上げる対策など検討してください。また、倉庫の無駄に設置せず、計画的に適切な面積を出し計画に反映すべきです。</p>	<p>新庁舎の規模について</p> <p>基本計画における新庁舎の想定規模は、おおむね10,000㎡～12,000㎡と想定していますが、当該想定規模を踏まえつつ、今後、基本設計と並行して実施するオフィス環境整備業務の成果をもとに、よりコンパクトかつ機能的で、これからの職員の働き方などに沿った庁舎面積の算定を行います。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
116	<p>私の家のポストにパブリックコメントの意見提出の紙が入っていました。中にはすでに文字が書き込まれていて、選択肢を選ぶと意見が出せるようになっていました。パブリックコメントとは、自由に意見を書き込み、自分の意志で出すものではないのでしょうか。何か世論誘導をしたい人達がいるのではないのでしょうか。この紙がポストに入っていることに違和感があります。</p> <p>今の市役所を残してほしいという人もいるとのことですが、私は今の庁舎を壊して、新しい庁舎を建てることを要望します。今の庁舎では地震に対しても危険性があるし、津波が来たときは被災するしかありません。少しでも早く安全な庁舎に建て替えるべきです。</p> <p>今の市役所は見た目もくたびれて汚いし、安全性もない。これを残そうとするのは、建築が好きな人のわがままです。いい加減にしてほしいです。</p>	<p>計画案に基づき、できる限り早く安全で安心な新庁舎を建設していきます。</p>	B
117	<p>現在の市役所は著名な建築家の方が建てたと聞きました。だから市民みんなの貴重な財産だと、四国放送でも流れていましたし、徳島新聞でも記事になっていました。</p> <p>私から見れば、その辺の古いビルとの違いがわかりません。「著名な方が建てたもの」だから残したいのかもしれないですが、それに必要な費用を市民が負わなくちゃいけないのは、おかしいような気がします。</p> <p>我々のような庶民は普段から広告とにらめっこしながら、少しでも安いものを買おうと努力しているのに、頭の上では、使いもしない公共施設を残すために税金を使うなんて議論がされていることに不安しかありません。</p> <p>百歩譲って、新しい市役所というのは理解ができます。災害が起こった場合や普段の使い勝手を考えれば、今の建物ではダメという説明に納得もできます。</p> <p>でも、見る人が見たらわかるなんていう建物の保存のために税金を払い続けたいとは思いません。どうか、我々の税金を無駄に使うようなことはやめてください。</p>	<p>計画案に基づき、コストについても重視しながら、できる限り早く安全で安心な新庁舎を建設していきます。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
118	<p>増田建築について</p> <p>P48に「検討委員会において「今後、基本設計を進めていく中で、現本庁舎や市民会館を含む故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、並行して検討していく必要がある。」と提言いただいたことを踏まえ、そうした検討も今後行っていくこととします。」と記載されているが、この検討委員会の提言は異常であり、市が提言を踏まえ今後検討を行っていくことには反対である。</p> <p>そもそも鳴門市の所有する施設に、増田友也氏が設計した建築物が19施設も存在することが異常なことである。徳島新聞によると増田友也氏は24年間に61作品を世に送り出したことになっているが、そのうちの19が鳴門市の公共施設である。当時、どのような業者選定が行われたのか。設計コンペや、価格など公正な競争が行われていればこのようなことはあり得ない。恣意的な選定が行われたとしか考えようがなく、いわばこれらは、鳴門市にとっては過去の不適正な発注を証明する負の遺産である。</p> <p>鳴門市が行政として、負の遺産とも言える増田友也氏が設計した施設の保存・顕彰を行うなどナンセンスである。公共施設として必要とされ、役に立っていれば継続使用すれば良いし、役割を終えたり、老朽化や施設そのものの問題により、維持管理コストが嵩むようであれば解体若しくは更新すれば良いだけのことである。</p> <p>行政が必要としなくなった施設を保存・顕彰したいという人がいるのであれば、その人たちがやれば良い。市民の血税を投入するようなことがあってはならない。</p> <p>当然、老朽化が著しく、耐震性も備えていない、国から文化財にも指定されていない現本庁舎は、役割を終えた建物として、解体するべきである。</p>	<p>計画案に基づき、できる限り早く安全で安心な新庁舎を建設していきます。</p> <p>故増田友也氏が設計した市内の19施設の保存・顕彰などについても、今後検討を行います。</p>	D

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(13) 第7章5. 「今後の進め方」に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え	反映
119	<p>今後の、検討プロセス開示と市民との対話の場の設置 ・基本計画だけでなく、基本設計段階においても市民の意見を反映できる仕組み、機会を作って欲しい。</p>	<p>今後も、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	B
120	<p>新庁舎建設における今後の進め方について 新庁舎建設について様々な面から立て替えの時期であることは明らかで賛成です。 しかし新庁舎建設基本計画は市民全体には十分な情報が伝わっていないと思います。多くの方は無関心で、きれいな庁舎が建てばいいくらいにしか思っていません。建設地についても市の候補である4カ所や、その他の7つの私有地の候補があること、本庁舎、市民会館、共済会館が増田友也氏による建築である価値についてなど、これだけでも市民に知れ渡っていないと思います。市民3000人に対してのアンケートは、どのくらいの情報を与えてのアンケートだったのでしょうか。一度で市民の意見がまとめられるとは思えません。 熊本地震以後に庁舎建て替えに国の補助金が得られるとのことで、基本計画提出期限に間に合わせるために急いでいるように思えます。補助金を受けることは市の財政上重要ですが、50年に一度の建設は都市計画・町づくりの重大な中心事業です。今後の鳴門市の発展を大きく左右するものです。基本計画や有識者による検討委員会は新庁舎建設だけを検討していますが、周辺との関連を含めて行政と民間と市民が連携協力しなければ発展していく町づくりはできないと思います。鳴門市を発展させられる大きなチャンスだと思います。限られた人しか見ないHPだけの情報公開だけではなく、みんなが簡単に情報を得られるPR活動を展開すべきだと思います。ポスター形式やパンフレットを作ったり、テレビ鳴門でのPRなどを利用したりして、情報を提供し、市民や商工会、民間企業などの意見も多く聞くためにも時間をかけて決めたいと思います。国の補助金の期限も延期されそうとの話しも聞きますので、時間をかけて分かりやすい情報を提供してください。例えば市民会館がなくなったら、建設中やその後そこで行われていた活動はどこでできるのか、駐車場を広げたら、交通量はどうなるのか、などメリットやデメリットも含めて分かりやすい情報をお願いします。増田建築についても情報をお願いします。基本設計段階でも市民の意見を反映できるように、また今後のスケジュールなども、その都度情報の提供をお願いします。</p>	<p>今後も、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、市民にとってわかりやすく、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
121	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画だけでなく、基本設計段階においても市民の意見を反映できる仕組みを作って欲しい(基本設計において、建設検討委員会、設計者選定審査委員会を設置して内容を検討することを望みます。) 	<p>今後も、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、市民にとってわかりやすく、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	B
122	<p>今後の、検討プロセス開示と市民との対話の場の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金ありきで、現位置での建替の結論ありきの検討プロセスになっていると感じている。情報公開も非常に遅く、不十分。市民に公開された公正な検討をすること 基本計画だけでなく、基本設計段階においても市民の意見を反映できる仕組みを作って欲しい。 基本設計の業者は、入札で安いところを選ぶのではなく、誇りあるデザイン、計画などをじゅうしするのためにプロポーザル方式で決定してください。 具体のスケジュール等、今後の進め方をもう少し具体的に示して欲しい。 	<p>今後のプロセス開示等について</p> <p>今後も、各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、市民にとってわかりやすく、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	B
		<p>設計者選定について</p> <p>設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。</p>	B
123	<p>【公明正大な検討】</p> <p>今回の検討プロセス(検討委員の選定方法、検討委員会内での議論のプロセス、市民ワークショップの開催とその意見の反映レベル、市民アンケートの設問の不備、市民アンケート結果の数字の定時方法、敷地選定時における比較方法、点数の付け方)を見ると、何やら、当初の結論ありき(＝現位置で全てを解体し、巨額をかけて嵩上げをし、その上に大きな庁舎を建てたい)で、市民を置き去りにしながらも、あたかも検討したと言うアリバイ作りの様なプロセスに感じられます。</p> <p>理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の委員長が、まちづくり、建築、建設のプロではないこと 検討委員会の多くの方が、本件に対する十分な知識を有しておられないこと 検討内容の公開が著しく遅く、また不足していること 市長へのメール、市の職員への質問を通じて、論理的な検討プロセスの説明がなされないこと <p>などが挙げられます。</p>	<p>情報公開について</p> <p>各事業段階において新庁舎建設事業の進捗状況を市民に適切に情報開示することで、より良い庁舎づくりに繋がるよう努めます。</p>	B
	<p>まるで、当初設定した結論に至ると、政策決定側の特定の個人または集団が、特定の企業または団体から利益を供されるのではないかと、との疑念が湧いてきてしまう様な状況になっています。またこう進めざるを得ない過去の個人的な貸し借りを、市民の血税で解消したいという思いすら、疑わざるを得ない状況です。そうでなければ、早期の情報公開と、正確かつ論理的な検討がなされている事が通常であると思うからです。</p> <p>まさかそんな事はないと思いますが、この疑念が晴れる様な、公明正大な検討を今後は進め、適時情報公開をする事で、市政に対する信頼回復を果たされる事を望みます。</p>	<p>その他について</p> <p>検討委員会については、各界各層の有識者をお願いし、公明正大に建設的な議論をいただいています。</p>	D

※ いただいたご意見等については、原文のまま掲載しています。

反映 A : 意見等を計画等に反映するもの B : 意見等が既に反映されているもの
C : 意見等を今後の参考とするもの D : 意見等を反映する見込みのないもの

(14) その他に関する意見等と市の考え方

No.	意見等の概要	市の考え方	反映
124	<p>デザイン性の高度な建築物は費用が高価になるのであれば必要性は低い。</p> <p>①従来型の建築にこだわらず、工場建設に使用される一定の規格を採用することでコスト削減を図るシステム建築のような機能美を求める。</p> <p>②設計に多額の費用は必要ない、定型の建築でよく施設の運営に様々な意見を取り入れ使用頻度の高い施設を目指すべきと考えます。</p> <p>③新進の建築家の起用等で高額にならないのであれば、デザイン性も考慮すれば良い。</p> <p>④大塚製薬や若しくは市民よりの寄付等の資金援助のできるスポンサーがあつて初めて検討できる。</p>	<p>新庁舎のデザイン性については、費用が著しく増大することがないように、設計を行う中で検討します。</p> <p>また、コスト削減に関しても、一定の規格を用いるプレキャストコンクリートの採用等を含む、様々な手法について検討します。</p>	C
125	<p>新庁舎建設は50年から100年に一度のめったにない機会であり、単なる建物の新築だけに終わらせるのではなく、この機会に現庁舎ではできなかったような全く新しい施策を展開できる庁舎にするという発想が必要であろう。今年ちょうど改元が行われることでもあり、新庁舎建設を、市職員をはじめすべての市民が明るく希望の持てる鳴門市づくりのために心新たになるきっかけとすべきと思う。</p> <p>地方消滅の危機を克服するため、すべての職員に国や県が提示する施策に縛られることなく、自由な発想、大胆なアイデア、ハード・ソフト、小さなことから大きなことまで、未来を見据えた新しい施策の提案を募集してはどうか。</p>	<p>新庁舎は市民や職員の利便性はもとより、鳴門市のシンボルとなる施設としてさまざまな角度から検討します。</p> <p>このたびの庁舎建設にあたって、市役所の業務改善もあわせて行うこととしており、市職員からの提案については参考とします。</p>	C
126	<p>基本設計は、入札方式ではなく、プロポーザル方式とし、いい建物になるようお願いしておきます。鳴門市にとって、市民にとって誇りに思える新庁舎にしてください。</p>	<p>設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
127	<p>【基本設計・設計者の選定方法について】 P42～43から、DB1方式を採用され、「基本設計」は、「実施設計＋施工」と別発注との文言を確認しております。 今回、時間的制約が多いことは承知していますが、市民に愛されるより良い市庁舎づくりのため、「基本設計」の別途発注の堅持、参加資格の緩和をお願いしたいです。 実績が十分で安定感のある大都市圏の大手組織設計事務所に加え、大御所のアトリエ建築家事務所、若手の建築設計事務所、鳴門市内・徳島県内の設計事務所にも参加資格を与え、門戸を広げ、少なくとも10社以上の設計案から、市民が納得する設計案、鳴門の街を魅力的にする案を選定して頂ける様、お願いいたします。庁舎建築は珍しいものでも無いので、有能であれば、地元の若手でも設計できますので。 時間的な制約や、特殊建築物の場合には、往往にして、施工や金額を見据えて、無難な、ありきたりな案が採用され、高額な建設費の割に、都市に対するポジティブなインパクトが発揮されない(ROI効果の低い)建築物が建設されがちです。例えば、新国立競技場では、2度目のコンペ時には、時間的な制約から、設計案(基本設計・実施設計・施工一体のデザインビルドチーム)は2案しかなく、決して、世界を驚かせる様なインパクトがあるとは言えない無難な2案からしか選べない状態を、発注者の条件設定ミスにより引き起こしてしまいました。(対して、1度目のコンペは50以上の参加) 一方で、富岡市役所の設計プロポーザルには、50社以上が参加しました。 世田谷区庁舎では、最終審査で6社(大手組織設計、大御所建築家、若手アトリエ)の審査を、320名の区民に公開しました。 審査員は、建築計画学、建築デザイン学、都市デザイン学、都市経営等の教授や准教授で、全国的にまた国際的に活躍されている有識者と、市民、市職員を迎え入れ、より多くの人に開かれた審査会とすることを要望します。ブラックボックスで決まったものには、市民が愛着が示せないことと、市民が税金の無駄遣いだ、などと反対行動が起こり、事業期間の延長を引き起こしかねないからです。 鳴門市は、こういった失敗例と成功例から学び、賢い発注者として、規模や年齢に関係なく、才能ある設計者を登用する気概を県内外に知らしめることにより、より良い庁舎作りに加え、市のブランド発信の機会として頂けましたら幸いです。私がお手伝いできることであれば、何でもしますので、仰ってください。</p>	<p>設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定です。その参加資格についても、今後検討します。</p>	B

No.	意見等の概要	市の考え	反映
128	<p>「まち」へ投資の観点からの基本設計と件追加を要望 今回の計画は、約60億円を中心市街地に投下する投資と言えます。しかし、今回の投資がどのように「まち」にインパクトを与えるかが全く言及されていません。これが、市民がコストばかりを気にして、ハコモノ行政と揶揄する原因です。ポートレース場は上物に約46億円、道の駅は土地取得費と営業補償費を含めて約20億円ですから、他の投資的経費と比べても近年最大規模と言えます。職員には良い環境で効率よく素晴らしい仕事をして頂きたいところですが、かかるコストも大きいので、ぜひ、投資の観点からどのような建築計画が可能か、一歩踏み込んだ検討をして設計と件を設定した上で、基本設計の設計者選定時に具体的アイデアを募って下さい。</p> <p>一方で、「庁舎は職員のオフィスビルに過ぎない」と割り切り、庁舎にかかるコストは最小限に縮減し、浮いたお金を中心市街地活性化や観光振興に使う、という考え方を取ることも出来ます。たとえば規模縮小などにより、庁舎建設に50億円を使い、余りのお金10億円を中心市街地活性化や観光振興に使うと、どんなことが出来ますか？</p> <p>基本計画案を拝見したところ、建設費に約60億円を支払う覚悟がおありのようですので、ぜひこれを単なる建設コストとして支出するだけでなく、市の税収を少しでも増やすための投資と考えて支出することをお願いいたします。</p>	<p>設計者選定にあたっては、公募型のプロポーザル方式による選定を行う予定であり、その中で庁舎規模の圧縮やコスト削減等に関する提案なども求めていくこととしています。</p>	B
129	<p>市役所南の道路は危険であるため、市役所敷地に変更できないでしょうか。そして、駐車場も一部立体化し、公用車を洪水や津波から守り、災害時に備えることを考えて欲しいと思います。</p>	<p>現本庁舎と共済会館の間に位置する市道市役所線や、公用車用の立体駐車場の整備については、今後の基本設計の中で検討を行います。</p>	C
130	<p>「鳴門市新庁舎建設基本計画」では、プライバシーに配慮した相談スペース、カラーユニバーサルデザインへの対応、セキュリティ対策の強化など市の業務や市民を考慮した多くの項目が挙げられ素敵な庁舎になると思います。</p> <p>そこで、新庁舎だけでなく、公共施設の階段には、市民の健康と安全を考慮して、「階段上がって健康づくり」と称し、階段の中ほどに「○階です△△段登りました。□階まで後◎◎段です。」と表示する。また、各階には「海拔**m」と表示すると津波時の避難目安になるとは思いますがどうでしょうか。</p>	<p>計画案の中で、利用しやすい庁舎という方針をかかげており、基本設計時の参考とします。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
131	<p>鳴門市新庁舎建設基本計画検討委員会について 今日(1月12日)現在においても、鳴門市新庁舎建設基本計画検討委員会の議事録が【※ 工事中】となっている説明をお願いします。適切な情報公開が成されないままに、パブリックコメント募集の締切が近づいていますが、市民は全ての情報を確認できないままに意見を提出することになります。有識者会議が正常に機能していたのかを判断できかねますので、一刻も早い議事録の公開をお願いいたします。</p> <p>また、これだけの各種専門家が揃っているわけですから、それぞれの専門分野の見地から今回の鳴門市新市庁舎建設基本計画(案)についての総括をお願いします。少なくとも委員長からの見解やこの計画案の妥当性を述べて頂きたいと考えます。</p>	<p>検討委員会の議事概要については、市公式ウェブサイト上に掲載します。計画案については、検討委員会において適正に検討され、妥当なものと考えています。</p>	C
132	<p>素案について 難しい言葉、専門用語の羅列で具体的に何がしたいのか意味不明。誰もが読める簡易で重要ポイントを押さえた20ページまでの素案を作成。83ページは誰も読まない。 3000人のアンケートも、抜粋して2ページ程度にまとめる。 素案20ページとアンケート抜粋 2ページをつけてサイド前回と違う3000人にアンケートをとる。 インターネットの方には投稿フォームを作成して誰でもアンケートに参加できるようにする。 素案の表記の●については、数字をふる。 文章は、簡略に書く。検討します。は使わない。動線を確保する。というような文体にする。 検討します、は実行できません。と同じなので素案には、一切使用しない。 パブリックコメントで出た意見は、個人情報以外は、すべて情報公開すること。 パブリックコメントの意見を取り入れて再度素案を練り直す。</p>	<p>今後の参考とします。</p>	C
133	<p>●鳴門市の財政について 鳴門市の財政は、毎年2月になると広報に載る。27年度と28年度は、余剰金がでていいる。半分は基金の積み立てになっているが、1億円でも借金を返す方が貸利子が安くないか。</p>	<p>財政運営の参考とします。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
134	<p>●糖尿病汚名返上プロジェクト 徳島県民15歳から全県民に、糖尿病早期発見のため、無料で検査実施。小学校の頃から正しい食習慣、血糖測定をする。正当な理由なしに検査を受けない方は、(何かペナルティを)万歩計を無料レンタルして、デートをローソン等の機械に転送 1日7000歩以上歩いた方が、6か月で5000円の徳島県内で使用可能な商品券をプレゼント(使用期限有)1年で10000円 一人一回限り(志木市をまねる)毎月1日7000歩歩こうイベントを開催し、12回制覇した人には、5000円の商品券プレゼント 野菜を適量食べる料理講座 食育講座 いきいき100歳体操をスタンプラリーカードを作り100個たまれば5000円の商品券 一人一回限り2年続いたら景品3年続いたら景品と景品のランクをあげる。モバイルスタンプラリー100カ所のチェックポイントに表示されたQRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ることで電子スタンプを獲得。集めたスタンプの数(ポイント)や内容に応じ、豪華景品が当たる抽選に応募できる。1日参加賞あり</p>	<p>他の施策の参考とします。</p>	D
135	<p>本件に関する鳴門市の情報公開は、他の自治体(静岡県静岡市、三重県伊賀市など)と比べ、著しく不足しています。情報公開のスピードが非常に遅く、また公開される内容は乏しいと指摘せざるを得ません。 ここ2ヶ月、鳴門市に帰り、市民や市議、約40人ほどと会話してみると、現在の情報公開に納得している人は、殆どいませんでした。よって、下記の事を要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 今回のパブリックコメントの文言一言一句全てを、市長、副市長、政策監、参与、市職員の判断で隠蔽したり、論点を丸め込む事を一切せず、ホームページ上で公開して下さい。三重県伊賀市は公開しているので、制度上、鳴門市が出来ないということはないと思います。 2) 今回のパブリックコメントの文言一言一句全てを、検討委員会に開示し、適切な議論をして下さい。 3) 検討委員会の議事概要を早急に、ホームページ上に公開して下さい。2018年6月5日の議事概要が、7ヶ月も経過した後に、未だに工事中ということは、全国的に見ても非常に遅れた情報公開に対する姿勢である事、市民を蔑ろにした隠蔽体質の市政であることとの証左となり、出身者として、非常に恥ずかしく思います。即刻、公開してください。 4) 今後の検討スケジュール、プロセスの完全なる早期の公開 	<p>鳴門市では、パブリックコメントで提出された意見等について、一つ一つを分かりやすくするとともに、全体の一覧性を良くする観点から、必要に応じて、意見等を要約することとしています。 検討委員会の議事概要については、市公式ウェブサイト上に掲載します。今後の検討スケジュール等については、各事業段階において情報開示していきます。</p>	C

No.	意見等の概要	市の考え	反映
136	<p>【市民アンケート結果の数値データの正確性】 P47において、「約77%の市民が現本庁舎敷地での建設を望んでいる」という記述がありますが、この数値の正確性について回答をお願いします。 市民アンケートの選択肢を見ると、「1. 現本庁舎が建つ敷地に建設、2. 市が所有する他の土地に建設、3. 新たな場所に土地を購入して建設、4. その他」とあり、「文化会館駐車場敷地、旧衛生センター敷地、うずしおふれあい公園敷地」という存在する自己用地の記述を確認することができませんでした。具体的な敷地が示されたのは現本庁舎敷地のみであり、それ以外は市民が自由記述することとなっています。この聴取法では、唯一示された具体的な敷地1. が大多数を占めるの可能性が高いと想像することは容易です。 仮に選択肢を入れ替えて、「1. うずしおふれあい公園の敷地に建設、2. 市が所有する他の土地に建設、3. 新たな場所に土地を購入して建設、4. その他」とすれば、同様に1. うずしおふれあい公園が多数を占める結果になっていたを可能性が十分に想像できます。 本来ならば、検討すべき自己用地は既に決まっていたので、他の自治体が通常そうしているように、【①現庁舎敷地(現本庁舎・市民会館のいずれかまたは両方の解体を伴う)、②現庁舎敷地(現本庁舎・市民会館を解体せず、空いている敷地に建設)、③文化会館駐車場敷地、④旧衛生センター敷地、⑤うずしおふれあい公園敷地、⑥新たな場所に土地を購入(自由記述)、⑦その他(自由記述)】と、市民に正しい情報を全て開示し、公平な環境で、正確な数値データを測定し、その客観的な事実に基づいて検討委員会で敷地を正しく検討すべきであると考えます。 以上の論点を踏まえて、今回の約77%という数値の正確性に対する見解を、市民に分かりやすく教えて下さい。 データ改ざんが引き起こす損失が大きいことは周知の事実です。後から不正な算出プロセスが明らかになると、本事業以外の市政の遅延等への悪影響もきたす事が想定されるため、正式な決断を下す前に、今一度、そのプロセスと正確性を確認しておいて下さい。</p>	<p>市民アンケートの質問項目等、その内容については、有識者で構成する検討委員会にもお諮りした上で決定したものであり、適正に実施されたものと判断しています。</p>	D

No.	意見等の概要	市の考え	反映
137	<p>新庁舎建設計画の方針仮説決定時期について 建設場所の点数比較では、①現庁舎敷地15.5点、次点に②文化会館駐車場12.0点となっています。比較項目に「現本庁舎の保存」や「現本庁舎の利活用」、「市民会館機能の確保」という項目を入れれば、点数が近づく、または順位が逆転する可能性が高いです。このように、定性的なものとの比較に点数を用いることで、項目の恣意的な取舍選択や点数の重みづけによって、結論ありきの選択をあたかも客観性・論理性を持っているかのように見せる印象操作が可能です。加えて、現庁舎敷地以外を「その他市有地」と匿名化した選択肢による市民アンケートを行うことで、77%の市民が現庁舎敷地を望んでいると、自らの主張を補強するために市民をあざとく利用しているように感じます。</p> <p>無論、完全な客観性・論理性のみによって計画案を作成するのは不可能であり、市当局の進め方には理解を示すところです。では、市当局において、「現庁舎解体＋現庁舎敷地での建設」の方針仮説はいつ頃から語られ始めましたか。平成29年8月の「鳴門市庁舎のありかた検討会議内」で議論され、平成30年3月の基本計画検討業務発注以前には決まっていたのでしょうか？</p>	<p>「鳴門市庁舎のありかた検討会議」について 平成29年8月に設置した「鳴門市庁舎のありかた検討会議」においては、新庁舎の建設にあたり現庁舎敷地を活用するのが望ましいという意見が多数を占めました。しかしながら、現本庁舎(増田建築)の解体については、1棟体制案・2棟体制案の2つの案を検討委員会に提示したものです。</p> <p>市民アンケートについて 市民アンケートは、無作為に抽出した市民3000名を対象に実施し、約45%の回答率を得て、適正に実施されたものであり、客観的な市民の意見が反映されたものと判断しています。</p>	D
138	<p>導入機能への疑義 ユニバーサルデザイン、耐震・浸水対策機能、フェーズフリー、ライフサイクルコスト縮減、環境負荷の低減、周辺環境との調和・歴史の継承は、「導入機能」ですか？導入機能とは、一般的には複数の諸室を統合した諸室群を指し示すものと理解していますが、鳴門市では、独自の特別な意味として、この用語が使われているのでしょうか。そうでなければ、資料として整理の仕方がおかしいと思いますので、修正してください。</p> <p>個人的には、これらは庁舎整備における留意事項であり、個別の諸室群と併記される要素ではなく、建物全体にかかる内容だと感じます。</p>	<p>市の新庁舎建設基本計画では、5つの基本方針に基づく導入機能として、ご指摘いただいた項目を含め11の項目を整理しています。</p>	D

(15) アンケート形式によりパブリックコメントとして提出された自由意見【参考】

- ・ 津波浸水対策として新庁舎設計を考えるべき(非常電源、災对本部機能、住民の一時避難等)。増田建築は資料保存とすべき
- ・ 防災関連で事前復興費を
- ・ 将来の人口減に伴う業務量や職員数減を考えてコンパクトな庁舎
- ・ 防災を考えて高くした建築にすべし。今回はA案かB案とのことなのでA案にしたがもう少し市民の意見を聞くべし
- ・ いろんな意見を取り入れてください
- ・ 四国の玄関都市としてふさわしい庁舎の建設をお願いしたい
- ・ 費用対効果を十二分に考慮してほしい
- ・ 利便性を重視する
- ・ 現共済会館、保険棟に新築し現庁舎の使用検討
- ・ 新庁舎内にスポーツジムのような(市内が気軽に利用できる)施設を作ってほしい(鳴門はスポーツクラブのような施設が無く、他の市や町に流れているので)。あと1階部分はピロティでいいと思います
- ・ 文化会館までバスが行ってくだされば良いと思います。エースのプールが無くなり引田まで行かなければならないのでプールを作ってほしいです
- ・ 建設規模大きすぎる
- ・ 基本的に市の素案に賛成だが、市民案を退けるだけの判断資料不足である。市案のメリット・デメリット共説得力に欠ける。両案について少なくとも向こう数十年の必要経費の予測が必要では？現状の市民会館の使用状況が不明。別途建設するとあるが、県や他の施設を代替利用は検討したのか。市民案は先の見通しが立たない状況では賛同できない。市庁舎を残したい気持ちがあるが、解体しない場合、あと何十年残す想定か、そのまた維持費はいくらかかるのか。本当に活用されるのか。廃墟になる恐れ有。増田建築は観光資源として年間どれだけ訪問し、経済効果があるのか。
- ・ 新庁舎は共済会館、駐車場を利用して建ててほしい。市民会館はずっと使い続けさせてほしい。一時的にでも使用不能にならないように
- ・ 古い庁舎(増田設計)は壊したほうがいい。なぜなら維持が多額を要する
- ・ 市民会館を壊して庁舎を建設なら、市民会館に代わる施設を作ってほしい
- ・ バス停は国道でなく、市の敷地(ロータリー)にしてもらったらどうか。大規模木造建築も検討してほしい
- ・ もしも耐震化したとしても不安が残る。できれば解体し、新たなもののために土地を有効活用してほしい
- ・ 災害に備えての耐震ができることが大切
- ・ まちの景観を成すのは建物である。20世紀モダン建築のシンボリックな増田建築物は地域の文化資源としても価値があり、保存すべきである。鳴門市民が幅広く活用できるスポットにしたらまちの活性化にもつながると思う
- ・ 工事中もATMは利用できるようにしてほしい(特にゆうちょ銀行)
- ・ ATMはなくさないでほしい
- ・ 災害時を考えて、クリーンセンター跡も何か有効に使う手段があるように感じる
- ・ 職業訓練所跡をなぜ売却したのか。立地としては良いと思ったが
- ・ 鳴池線にバス停をつくってください
- ・ 歴史的価値のある増田建築が後世に残る様がんばってください
- ・ 昔有名な建築家であっても現在客寄せに利用。不要なら新しくしたほうが良い
- ・ バス停は市役所前へ停車(上下線ともに)
- ・ 車に乗れない人もあるのでバス停に近いところにして町から離れたところはやめたほうが良いと思います
- ・ ふれあい公園はウォーキングに使う人が多いので、庁舎建設時に周りにコースが確保できるとうれしい
- ・ バスの回数を増やしてください。新庁舎の中までも入るように
- ・ バスは現在よりも小さくして往復回数を増やしてください